

令和３年度

**「市民による市政評価」
結果報告書**

令和３年 10 月

大仙市 企画部 総合政策課

目 次

1 はじめに

1.1 市政評価について	1
1.2 調査の種類	1
1.3 調査の手法	2
1.4 調査票	2
1.5 調査期間	2
1.6 集計・分析上の注意事項について	2

2 市民による市政評価

2.1 調査対象	4
2.2 回収率	4
2.3 回答者の属性	4
2.4 満足度及び重要度	7
2.4.1 満足の度合い	7
2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合	9
2.4.3 満足度における属性別比較	10
2.4.4 重要の度合い	14
2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合	16
2.4.6 重要度における属性別比較	17
2.4.7 項目別要望度	21
2.4.8 満足度、重要度の総括	23
2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較	24
2.5 さらに推進すべき取り組み	26
2.5.1 産業分野に関する設問について	26
2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について	29

2.5.3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について	32
2.5.4 環境安全分野に関する設問について	35
2.5.5 都市基盤分野に関する設問について	38
2.5.6 教育・交流分野に関する設問について	41
2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について	44
2.5.8 さらに推進すべき取り組みの総括	47
2.6 あなたが思う大仙市について	51
2.6.1 市内在住の経緯に関する設問について	51
2.6.2 「住みやすさ」に関する設問について	53
2.6.3 社会活動・地域活動に関する設問について	57
2.6.4 未来のまちの姿に関する設問について	59
2.7 経年比較	60
3 市民による個別事業評価	
3.1 市民全体を調査対象とした個別事業評価	74
3.1.1 健幸まちづくりプロジェクトについて	74
3.1.2 市の文化財について	86
3.1.3 市民のデジタル活用について	98
3.1.4 家庭での災害への備えについて	111
3.2 制度の利用者など特定の層を調査対象とした個別事業評価	120
3.2.1 若い世代のチャレンジについて	120
4 自由意見	160
5 資料（調査票）	
令和3年度「市民による市政評価」調査票	
令和3年度「市民による個別事業評価」調査票	

1 はじめに

1.1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さんの評価や意見を伺い、今後の市政運営や市民との協働のまちづくりを進めるため、「市民による市政評価」を平成 18 年度から継続的に実施している。

平成 28 年度からは、個別事業に関する評価や意見を調査する「市民による個別事業評価」を加え、市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めている。

個別事業評価については、広く市民の皆さんを対象とする調査と、実際に制度を利用されている皆さんなど、生の声を伺うため特定の層を対象とする調査に区分し、前者を市政評価に組み込み実施している。

1.2 調査の種類

調査は、次の区分により実施した。

(1) 市民による市政評価

第 2 次大仙市総合計画基本構想に示している体系（「施策の柱」、「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、次の事項を調査した。

○満足度（本市の現状に対してどのくらい満足しているか。）

○重要度（本市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか。）

○今後さらに推進すべき取り組み

また、「あなたが思う大仙市について」として、平成 28 年度から継続して実施してきた「住みやすさ」等の意識調査も行った。

(2) 市民による個別事業評価

施策に基づき市が実施している事業の認知度、利用度、意識等の把握や個別具体の施策を推進するための市民ニーズや意識を把握するため、次の 5 テーマについて調査した。

○分類 A：市民全体（年代・性別を問わない）を対象とする調査 4 テーマ

○分類 B：制度の利用者など特定の層を対象とする調査 1 テーマ

No.	分類	テーマ
1	A	健幸まちづくりプロジェクトについて
2	A	市の文化財について
3	A	市民のデジタル活用について
4	A	家庭での災害への備えについて
5	B	若い世代のチャレンジについて

1.3 調査の手法

令和3年度は、行政のデジタル化の一環として、個別事業評価（分類B）において、これまでの郵送方式（紙ベース）による調査とあわせてインターネットによる調査も実施した。

○市政評価・個別事業評価（分類A）：郵送方式（無記名形式）

○個別事業評価（分類B）：郵送方式及びインターネット方式（無記名形式）

※回答方法を次の①または②とし、対象者をそれぞれ半数ずつに分け調査を実施した。

①郵送またはインターネットのどちらかによる回答

②インターネットでの回答

1.4 調査票

本調査は、次の2種類の調査票により、それぞれの対象者に対して実施した。

○令和3年度「市民による市政評価」（「市民による個別事業評価（分類A）」の4テーマを含む）

○令和3年度「市民による個別事業評価」（若い世代のチャレンジについて）

1.5 調査期間

令和3年4月27日（火）～5月24日（月）

1.6 集計・分析上の注意事項について

- 本調査では、各調査の属性においては無回答を含めた回答者数を「n」とし、その他の設問においては、有効回答内での割合を求めるため、無回答を除いた有効回答者数を「n」として表記しており、各設問により母数となる回答者数「n」は異なっている。
- 属性等とのクロス集計では、属性等の不明者を除いているため、属性等の項目ごとの集計対象者の合計と、全体の集計対象者の合計は一致しないことがある。
- 市政評価での満足度、重要度及び要望度の平均値については、小数点第3位以下を、その他の設問での構成比（％）については、小数点第2位以下を四捨五入して表記している。
- 単一回答の設問における構成比（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。
- 複数回答の設問における構成比（％）は、集計対象者に対する回答者数の比率を示すものであり、その合計は100%を超えることがある。

2 市民による市政評価

2 市民による市政評価

2.1 調査対象

18 歳以上、85 歳未満の市民の中から無作為に抽出した 1,000 人（性別、年齢、地域については考慮）

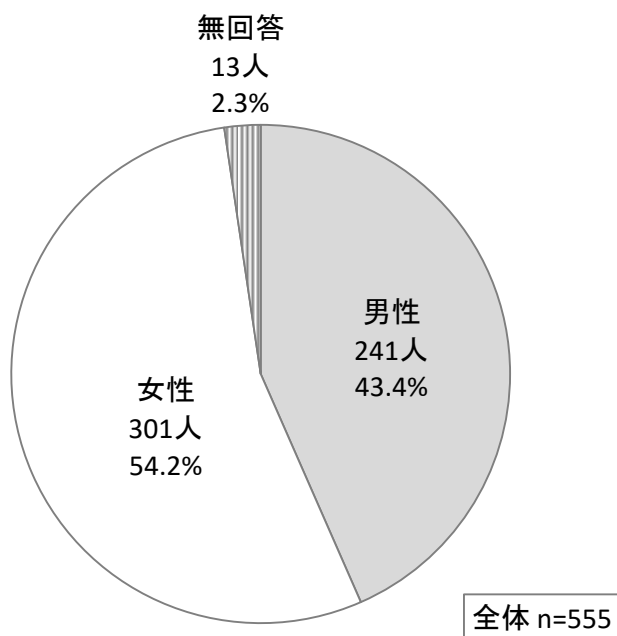
2.2 回収率

回収数・・・555

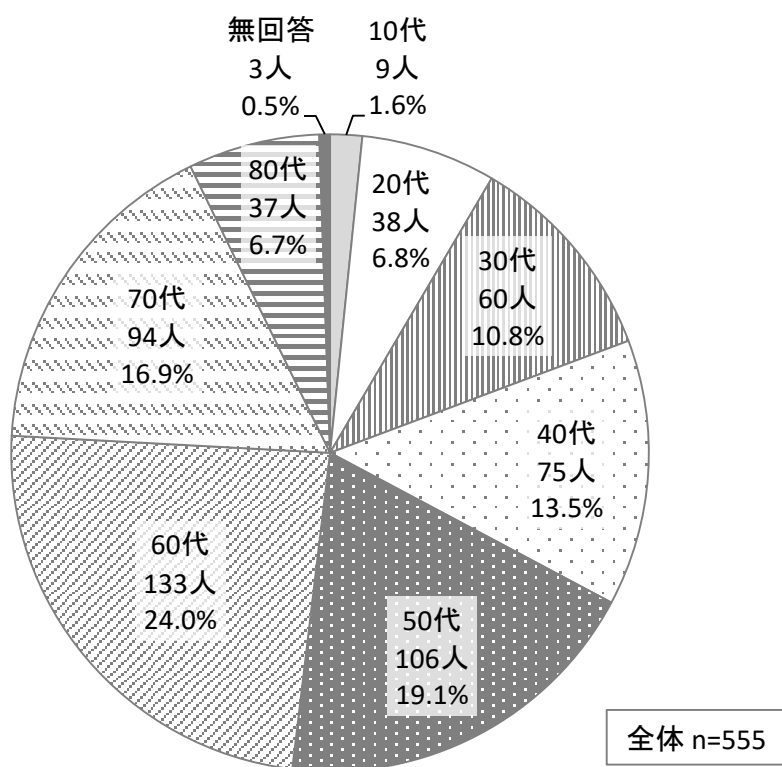
回収率・・・55.5%

2.3 回答者の属性

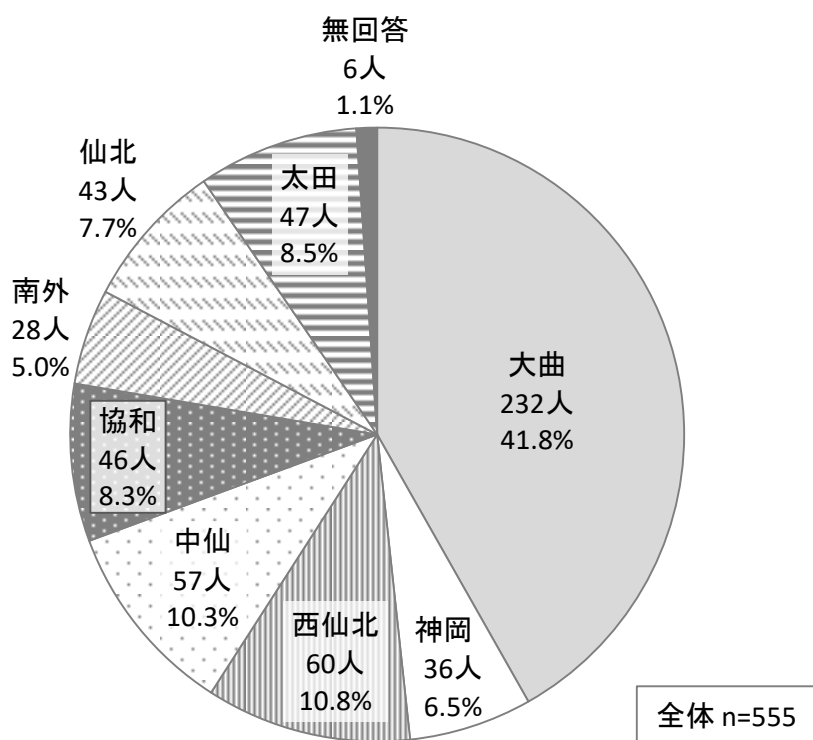
図表 1 回答者の性別の内訳



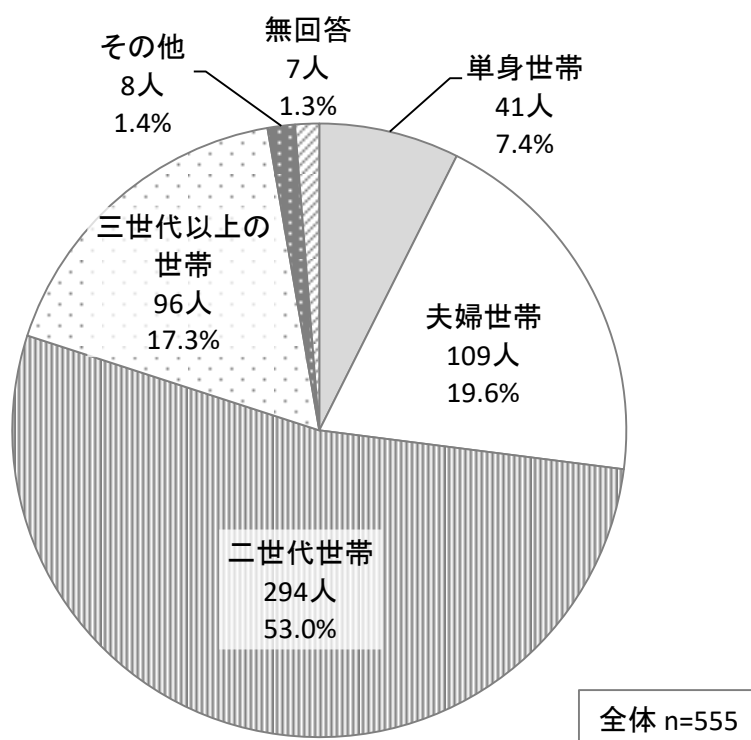
図表 2 回答者の年代の内訳



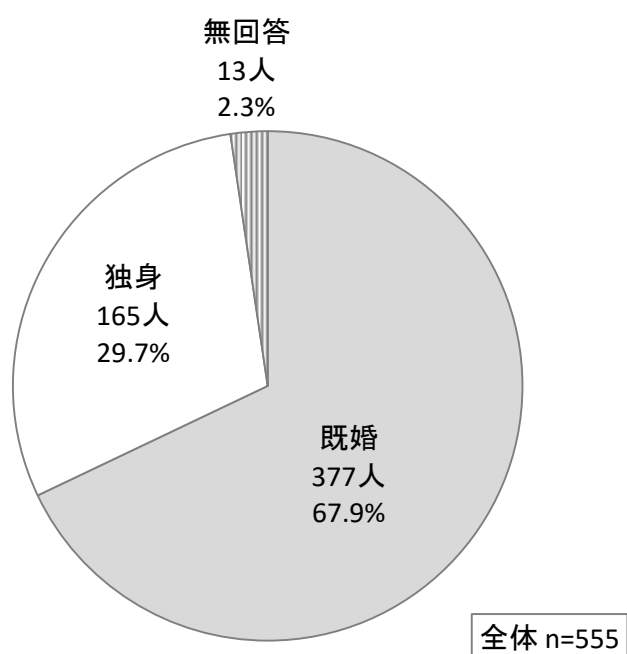
図表 3 回答者の居住地域の内訳



図表 4 回答者の家族構成の内訳



図表 5 回答者の婚姻状況の内訳



2.4 満足度及び重要度

2.4.1 満足の度合い

満足度の高い項目は、上位から「保健・医療」が3.61（昨年度3.64）、「自然・環境衛生」が3.51（昨年度3.59）、同順で「子育て」「安全・安心体制」「上・下水道」が3.46（昨年度それぞれ順に3.51、3.63、3.51）の順となっている。

一方、満足度の低い項目は、下位から「空き家対策」が2.82（昨年度2.88）、「雇用・就労」が2.84（昨年度2.93）、「商工業」が2.90（昨年度2.91）の順となっている。

昨年度と比較すると、「下降」あるいは「やや下降」となった項目が29項目中18項目と多く、全体的に満足度が低下している。これは、多くの項目で「まあ満足」の回答率が低下し、「やや不満」の回答率が上昇したことによるものと考えられる。

昨年度と比較して満足度の減少が大きかった（前年比0.15ポイント以上減）のは、満足度3.46で3位の「安全・安心体制」（前回より0.17ポイント減）、満足度3.42で6位の「スポーツ」（前回より0.15ポイント減）、満足度3.35で8位の「花火産業構想」（前回より0.15ポイント減）、満足度3.20で18位の「芸術・文化」（前回より0.15ポイント減）となっている。満足度の増加が大きかった（前年比0.15ポイント以上増）項目はないが、満足度3.26で13位の「公共交通」（前回より0.07ポイント増）のみ増加となっている。

図表 6 満足度（点数順）

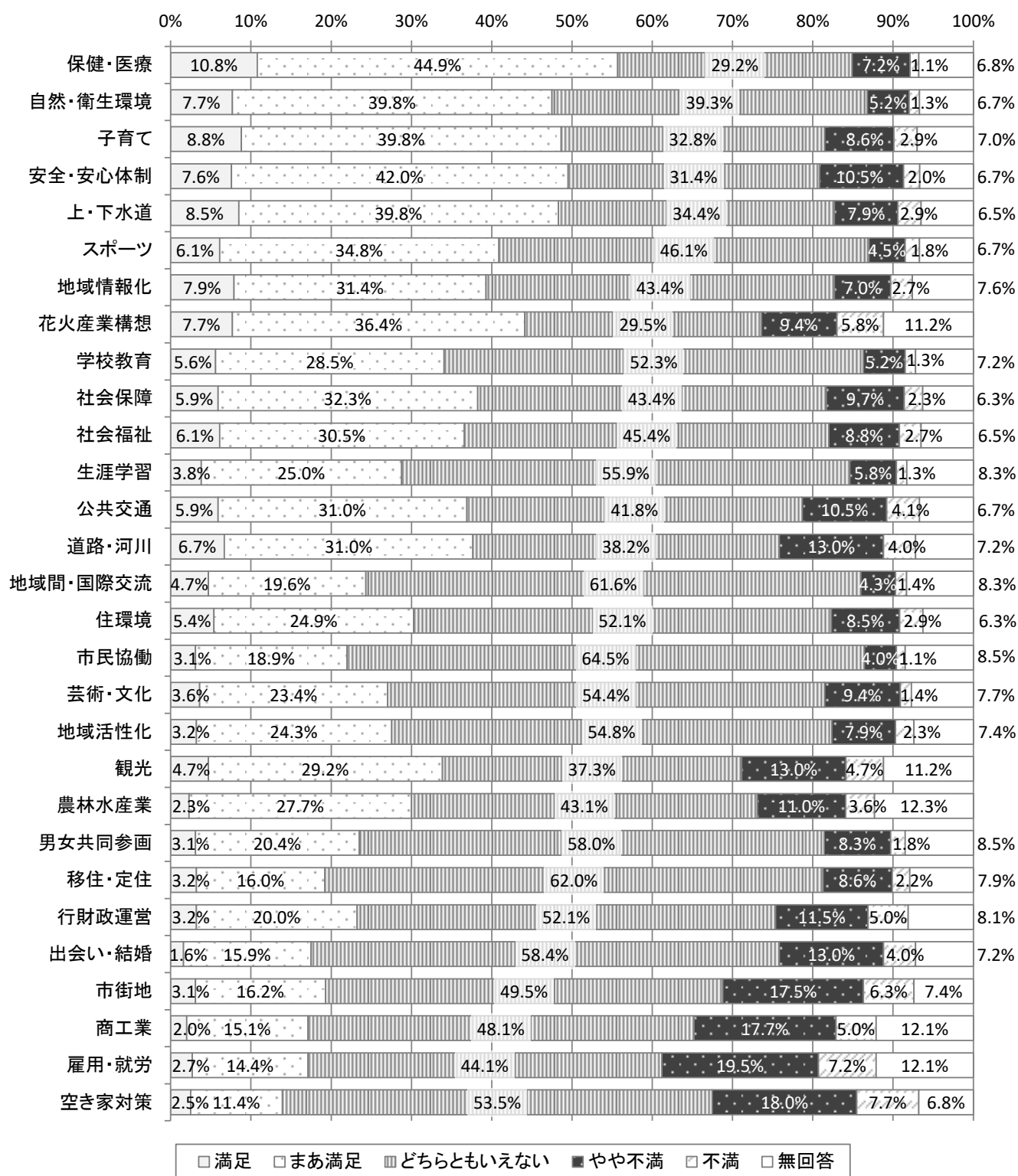
順位	R3	R2	項 目	満足度 ※			
					R3	R2	増減 (R3-R2)
1	1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	←	3.61	3.64	▲ 0.03
2	3	3	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	✓	3.51	3.59	▲ 0.08
3	5	5	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	←	3.46	3.51	▲ 0.05
3	2	2	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	↓	3.46	3.63	▲ 0.17
3	5	5	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	←	3.46	3.51	▲ 0.05
6	4	4	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	↓	3.42	3.57	▲ 0.15
7	8	8	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	✓	3.38	3.44	▲ 0.06
8	7	7	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	↓	3.35	3.50	▲ 0.15
9	9	9	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	✓	3.34	3.41	▲ 0.07
10	10	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	✓	3.32	3.38	▲ 0.06
11	11	11	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	✓	3.30	3.36	▲ 0.06
12	12	12	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	✓	3.27	3.35	▲ 0.08
13	22	22	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↗	3.26	3.19	0.07
14	17	17	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	←	3.25	3.25	0.00
15	14	14	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	✓	3.24	3.31	▲ 0.07
16	15	15	【住環境】 住みリフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	✓	3.23	3.30	▲ 0.07
17	19	19	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	←	3.21	3.23	▲ 0.02
18	12	12	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	↓	3.20	3.35	▲ 0.15
18	18	18	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	←	3.20	3.24	▲ 0.04
20	16	16	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	✓	3.18	3.29	▲ 0.11
21	21	21	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	←	3.16	3.21	▲ 0.05
21	20	20	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	✓	3.16	3.22	▲ 0.06
23	24	24	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	←	3.10	3.11	▲ 0.01
24	23	23	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	✓	3.05	3.13	▲ 0.08
25	26	26	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝い、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	←	2.98	3.00	▲ 0.02
26	25	25	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	✓	2.92	3.01	▲ 0.09
27	28	28	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	←	2.90	2.91	▲ 0.01
28	27	27	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	✓	2.84	2.93	▲ 0.09
29	29	29	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	✓	2.82	2.88	▲ 0.06

※満足度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↗	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	✓	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表 7 満足度における選択肢別の回答割合（点数順）



2. 4. 3 満足度における属性別比較

性別で見ると、全般的に満足度は女性が男性より高い。男女とも多少の差異はあるものの、概ね同様の傾向となっている。上位項目については、女性は全体の上位5位に挙げられている項目と同じだが、男性では「子育て」が上位5位から外れており（同順6位）、3位に全体で6位の「スポーツ」が挙げられている。男女とも「保健・医療」が1位となっており、全体で同順3位となっている「子育て」は、女性では2位となっている。

下位項目については、男性は全体の項目と同じ項目が挙げられているが、女性では「行財政運営」が25位となっている。

年代別で見ると、上位項目については、70代以下で「自然・衛生環境」が挙げられており、30代以下では1位となっている。また、30代以上で「保健・医療」、10代及び40代から70代までは「子育て」、30代及び50代以上では「上・下水道」が挙げられている。

下位項目については、全年代において「空き家対策」が挙げられており、20代以上で「雇用・就労」、70代以下で「商工業」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全地域で「保健・医療」「自然・衛生環境」が挙げられており、神岡・西仙北地域以外では「安全・安心体制」が挙げられている。

下位項目については、全地域で「空き家対策」が挙げられており、神岡地域以外では「雇用・就労」、西仙北地域以外では「市街地」、仙北地域以外では「商工業」が挙げられている。

図表 8 性別による満足度

■男性 (上位)		
順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.53
2	自然・衛生環境	3.46
3	スポーツ	3.45
4	上・下水道	3.44
5	安全・安心体制	3.41

(下位)		
順位	項目	満足度
25	市街地	2.92
26	出会い・結婚	2.88
27	商工業	2.86
28	雇用・就労	2.79
29	空き家対策	2.73

■女性 (上位)		
順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.70
2	子育て	3.58
3	自然・衛生環境	3.55
4	安全・安心体制	3.51
5	上・下水道	3.49

(下位)		
順位	項目	満足度
25	行財政運営	3.04
26	商工業	2.94
27	市街地	2.92
28	雇用・就労	2.88
	空き家対策	2.88

図表 9 年代別による満足度

■10代 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.89
2	安全・安心体制	3.78
	子育て	3.67
3	スポーツ	3.67
	公共交通	3.67

(下位)

順位	項目	満足度
	出会い・結婚	3.22
24	学校教育	3.22
	地域活性化	3.22
	農林水産業	3.11
27	商工業	3.11
29	空き家対策	3.00

■20代 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.56
	安全・安心体制	3.56
3	地域情報化	3.50
4	花火産業構想	3.48
5	生涯学習	3.47

(下位)

順位	項目	満足度
	空き家対策	2.94
25	男女共同参画	2.94
27	商工業	2.91
28	雇用・就労	2.85
29	出会い・結婚	2.74

■30代 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.59
2	保健・医療	3.56
3	スポーツ	3.53
4	花火産業構想	3.48
5	上・下水道	3.42

(下位)

順位	項目	満足度
25	商工業	3.00
26	市街地	2.95
27	出会い・結婚	2.93
28	雇用・就労	2.91
29	空き家対策	2.69

■40代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.66
	自然・衛生環境	3.49
2	安全・安心体制	3.49
4	子育て	3.47
5	地域情報化	3.42

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.96
	商工業	2.96
27	市街地	2.92
28	空き家対策	2.85
29	雇用・就労	2.80

■50代 (上位)

順位	項目	満足度
1	子育て	3.50
2	保健・医療	3.48
3	自然・衛生環境	3.41
4	上・下水道	3.37
5	スポーツ	3.35

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.87
26	市街地	2.85
27	商工業	2.75
28	空き家対策	2.71
29	雇用・就労	2.68

■60代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.61
2	子育て	3.54
3	自然・衛生環境	3.50
4	上・下水道	3.43
5	スポーツ	3.42

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.96
26	市街地	2.82
27	空き家対策	2.79
28	雇用・就労	2.78
29	商工業	2.76

■70代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.86
2	安全・安心体制	3.63
3	上・下水道	3.60
4	子育て	3.58
5	自然・衛生環境	3.57

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.16
26	商工業	3.10
27	市街地	3.09
28	雇用・就労	3.04
29	空き家対策	2.89

■80代 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.86
2	保健・医療	3.68
3	社会保障	3.66
	安全・安心体制	3.66
5	道路・河川	3.55

(下位)

順位	項目	満足度
25	移住・定住	3.07
26	農林水産業	3.04
27	空き家対策	2.97
28	市街地	2.93
29	雇用・就労	2.85

図表 10 地域別による満足度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.62
2	自然・衛生環境	3.50
3	子育て	3.46
	安全・安心体制	3.46
5	スポーツ	3.45

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.01
26	市街地	2.96
27	商工業	2.91
28	空き家対策	2.88
29	雇用・就労	2.82

■神岡地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	子育て	3.79
2	保健・医療	3.70
3	スポーツ	3.67
	自然・衛生環境	3.67
5	社会福祉	3.66

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.09
26	行財政運営	3.06
27	市街地	3.03
28	商工業	2.88
29	空き家対策	2.82

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.61
2	上・下水道	3.52
3	自然・衛生環境	3.45
4	子育て	3.39
5	社会保障	3.38

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.89
	商工業	2.89
27	行財政運営	2.82
28	雇用・就労	2.81
29	空き家対策	2.71

■中仙地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.55
2	自然・衛生環境	3.53
3	子育て	3.51
4	安全・安心体制	3.47
5	社会福祉	3.45

(下位)

順位	項目	満足度
24	移住・定住	3.06
	地域活性化	3.06
26	商工業	3.04
	雇用・就労	3.04
28	空き家対策	2.92
29	市街地	2.81

■協和地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.90
2	自然・衛生環境	3.75
3	子育て	3.73
4	保健・医療	3.66
5	安全・安心体制	3.58

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.95
26	空き家対策	2.90
27	商工業	2.85
	市街地	2.85
29	雇用・就労	2.83

■南外地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.64
2	スポーツ	3.60
3	安全・安心体制	3.48
4	保健・医療	3.44
	学校教育	3.44

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.92
26	商工業	2.91
27	市街地	2.80
28	雇用・就労	2.64
29	空き家対策	2.63

■仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.55
2	安全・安心体制	3.50
3	上・下水道	3.40
4	自然・衛生環境	3.39
5	花火産業構想	3.37

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.88
26	観光	2.85
27	出会い・結婚	2.81
28	空き家対策	2.69
29	雇用・就労	2.63

■太田地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.69
2	安全・安心体制	3.50
3	公共交通	3.41
4	地域情報化	3.40
5	自然・衛生環境	3.35

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.84
26	花火産業構想	2.83
	雇用・就労	2.83
28	商工業	2.80
29	空き家対策	2.60

2.4.4 重要の度合い

重要度の高い項目は、上位から「保健・医療」が 4.36（昨年度 4.40）、「安全・安心体制」が 4.30（昨年度 4.32）、「子育て」が 4.27（昨年度 4.38）の順となっている。

一方、重要度の低い項目は、下位から「地域間・国際交流」が 3.31（昨年度 3.42）、「スポーツ」が 3.42（昨年度 3.52）、「市民協働」が 3.49（昨年度 3.60）の順となっている。

昨年度と比較すると、全体的に重要度が減少しており、減少が大きかった（前年比 0.15 ポイント以上減）のは、重要度 3.91 で 14 位の「公共交通」（前回より 0.16 ポイント減）、重要度 3.66 で 24 位の「地域活性化」（前回より 0.16 ポイント減）となっている。重要度の増加が大きかった（前年比 0.15 ポイント以上増）項目はないが、重要度 3.69 で 22 位の「男女共同参画」（前回より 0.03 ポイント増）のみ増加となっている。

図表 11 重要度（点数順）

順位	R3	R2	項 目	重要度 ※		
					R3	R2 増減 (R3-R2)
1	1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	←	4.36	4.40 ▲ 0.04
2	3	3	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	←	4.30	4.32 ▲ 0.02
3	2	2	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	✓	4.27	4.38 ▲ 0.11
4	4	4	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	←	4.26	4.29 ▲ 0.03
5	5	5	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	←	4.20	4.25 ▲ 0.05
6	7	7	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	✓	4.16	4.22 ▲ 0.06
7	6	6	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	✓	4.14	4.23 ▲ 0.09
8	9	9	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	✓	4.10	4.17 ▲ 0.07
9	8	8	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備などに取り組んでいます。	✓	4.08	4.20 ▲ 0.12
10	11	11	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	4.07	4.12 ▲ 0.05
11	10	10	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	✓	4.03	4.14 ▲ 0.11
12	11	11	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	✓	4.01	4.12 ▲ 0.11
13	14	14	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	✓	3.92	3.97 ▲ 0.05
14	13	13	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↓	3.91	4.07 ▲ 0.16
15	15	15	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	✓	3.88	3.94 ▲ 0.06
16	20	20	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	←	3.77	3.77 0.00
17	22	22	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	←	3.75	3.75 0.00
17	16	16	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	✓	3.75	3.82 ▲ 0.07
17	19	19	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	←	3.75	3.80 ▲ 0.05
20	16	16	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	✓	3.74	3.82 ▲ 0.08
21	20	20	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	←	3.72	3.77 ▲ 0.05
22	23	23	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	✓	3.69	3.74 ▲ 0.05
22	24	24	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	←	3.69	3.66 0.03
24	16	16	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↓	3.66	3.82 ▲ 0.16
25	27	27	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	←	3.56	3.59 ▲ 0.03
26	25	25	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	✓	3.51	3.64 ▲ 0.13
27	26	26	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	✓	3.49	3.60 ▲ 0.11
28	28	28	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	✓	3.42	3.52 ▲ 0.10
29	29	29	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	✓	3.31	3.42 ▲ 0.11

※重要度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↗	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↘	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

2. 4. 5 重要度における選択肢別の回答割合

図表 12 重要度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.6 重要度における属性別比較

性別で見ると、男女とも多少の差異はあるものの、概ね同様の傾向となっている。上位項目については、女性は全体の上位5位に挙げられている項目と同じだが、男性では「社会福祉」が上位5位から外れており（6位）、5位に全体で9位の「農林水産業」が挙げられている。

下位項目については、男女とも全体の項目と同じ項目が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、全年代で「保健・医療」「子育て」が挙がっており、「保健・医療」は10代及び50代から70代までで、「子育て」は30代と40代で1位となっている。20代以上では「安全・安心体制」、20代から60代までは「雇用・就労」が挙がっており、「安全・安心体制」については年代が上がるにつれて順位が高くなっている。また、10代では「商工業」「地域活性化」、40代以下では「社会福祉」も挙げられており、70代以上では「道路・河川」「上・下水道」がともに挙げられている。

下位項目については、全年代で「地域間・国際交流」「スポーツ」が挙げられており、60代以下では「市民協働」、40代以上では「花火産業構想」が挙げられている。また、20代から40代までは「地域活性化」も挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全地域で「保健・医療」が挙がっており、中仙・仙北・太田地域では1位となっている。また、中仙地域では「農林水産業」「商工業」の産業に関する項目が挙がっており、西仙北・協和・南外地域では「道路・河川」または「上・下水道」のインフラに関する項目が挙がっている。

下位項目については、全地域で「地域間・国際交流」「スポーツ」が挙げられている。また、神岡・中仙・仙北・太田地域では「花火産業構想」の順位が最も低くなっている。

図表 13 性別による重要度

■男性					
(上位)			(下位)		
順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.38	25	芸術・文化	3.54
2	安全・安心体制	4.32	26	市民協働	3.45
3	雇用・就労	4.30	27	スポーツ	3.40
	子育て	4.30		花火産業構想	3.40
5	農林水産業	4.23	29	地域間・国際交流	3.28

■女性					
(上位)			(下位)		
順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.38	25	花火産業構想	3.63
2	安全・安心体制	4.30	26	芸術・文化	3.60
3	子育て	4.28	27	市民協働	3.56
4	社会福祉	4.23	28	スポーツ	3.44
	雇用・就労	4.23	29	地域間・国際交流	3.34

図表 14 年代による重要度

■10代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.33
2	子育て	4.22
2	社会福祉	4.22
4	商工業	4.11
4	地域活性化	4.11

(下位)

順位	項目	重要度
22	自然・衛生環境	3.67
22	公共交通	3.67
22	地域情報化	3.67
22	住環境	3.67
22	地域間・国際交流	3.67
22	市民協働	3.67
28	スポーツ	3.56
29	芸術・文化	3.44

■20代 (上位)

順位	項目	重要度
1	社会福祉	4.34
2	保健・医療	4.32
3	雇用・就労	4.31
4	子育て	4.26
4	社会保障	4.26
4	安全・安心体制	4.26

(下位)

順位	項目	重要度
24	芸術・文化	3.68
24	地域活性化	3.68
26	移住・定住	3.60
27	市民協働	3.40
28	スポーツ	3.27
29	地域間・国際交流	3.24

■30代 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.48
2	保健・医療	4.47
3	雇用・就労	4.42
4	社会福祉	4.31
5	安全・安心体制	4.29

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域活性化	3.59
26	スポーツ	3.55
27	芸術・文化	3.53
28	市民協働	3.48
29	地域間・国際交流	3.39

■40代 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.51
1	子育て	4.51
3	保健・医療	4.49
4	安全・安心体制	4.46
5	社会福祉	4.33

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域活性化	3.58
26	花火産業構想	3.50
27	市民協働	3.32
28	スポーツ	3.29
29	地域間・国際交流	3.08

■50代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.29
2	安全・安心体制	4.26
3	道路・河川	4.16
4	子育て	4.15
5	雇用・就労	4.13

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.43
26	市民協働	3.39
27	スポーツ	3.29
28	花火産業構想	3.28
29	地域間・国際交流	3.16

■60代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.33
2	安全・安心体制	4.31
3	雇用・就労	4.27
4	農林水産業	4.23
	子育て	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.55
26	芸術・文化	3.50
27	花火産業構想	3.47
28	スポーツ	3.44
29	地域間・国際交流	3.33

■70代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.39
2	安全・安心体制	4.25
3	道路・河川	4.23
4	子育て	4.22
5	上・下水道	4.18

(下位)

順位	項目	重要度
25	住環境	3.70
26	芸術・文化	3.61
27	スポーツ	3.56
28	地域間・国際交流	3.54
29	花火産業構想	3.53

■80代 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.25
2	道路・河川	4.21
	上・下水道	4.21
4	保健・医療	4.18
5	子育て	4.10

(下位)

順位	項目	重要度
24	芸術・文化	3.56
	地域情報化	3.56
26	スポーツ	3.55
27	地域間・国際交流	3.54
28	花火産業構想	3.52
29	市街地	3.36

図表 15 地域による重要度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.43
2	保健・医療	4.42
3	子育て	4.34
4	雇用・就労	4.33
	社会福祉	4.33

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域活性化	3.67
26	芸術・文化	3.65
27	市民協働	3.53
28	スポーツ	3.46
29	地域間・国際交流	3.38

■神岡地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.32
2	子育て	4.31
3	保健・医療	4.28
4	雇用・就労	4.25
5	学校教育	4.19

(下位)

順位	項目	重要度
	スポーツ	3.38
25	地域間・国際交流	3.38
	市民協働	3.38
28	芸術・文化	3.35
29	花火産業構想	3.32

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.26
2	保健・医療	4.25
3	雇用・就労	4.18
4	道路・河川	4.12
5	社会保障	4.07

(下位)

順位	項目	重要度
24	地域情報化	3.44
	芸術・文化	3.44
26	男女共同参画	3.38
27	花火産業構想	3.34
28	スポーツ	3.22
29	地域間・国際交流	3.04

■中仙地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.35
2	雇用・就労	4.31
3	農林水産業	4.26
4	安全・安心体制	4.21
5	商工業	4.19

(下位)

順位	項目	重要度
25	市街地	3.61
26	スポーツ	3.56
27	市民協働	3.53
28	花火産業構想	3.38
	地域間・国際交流	3.38

■協和地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.24
2	子育て	4.23
3	保健・医療	4.20
4	雇用・就労	4.15
	上・下水道	4.15

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域活性化	3.49
26	スポーツ	3.45
	地域間・国際交流	3.45
28	住環境	3.44
29	市民協働	3.38

■南外地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	社会福祉	4.44
2	子育て	4.38
3	安全・安心体制	4.36
	道路・河川	4.36
5	保健・医療	4.28

(下位)

順位	項目	重要度
25	スポーツ	3.64
	市街地	3.64
27	花火産業構想	3.55
28	芸術・文化	3.44
29	地域間・国際交流	3.08

■仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.54
2	雇用・就労	4.30
3	社会保障	4.24
	安全・安心体制	4.24
5	子育て	4.22

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.41
	市民協働	3.41
27	スポーツ	3.27
28	地域間・国際交流	3.18
	花火産業構想	3.18

■太田地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.33
2	子育て	4.16
3	安全・安心体制	4.14
4	雇用・就労	4.10
5	社会福祉	4.07

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.45
26	芸術・文化	3.42
27	スポーツ	3.28
28	地域間・国際交流	3.23
29	花火産業構想	3.15

2.4.7 項目別要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、上位から「雇用・就労」が1.42（昨年度1.36）、「商工業」が1.20（昨年度1.26）、「空き家対策」が1.06（昨年度1.06）の順となっており、上位6項目の順位は昨年度と同じであった。

一方、要望度が低い項目は、下位から「スポーツ」が0.00（昨年度-0.05）、「地域間・国際交流」が0.07（昨年度0.11）、「花火産業構想」が0.16（昨年度0.14）の順となっており、下位3項目の順位は昨年度と同じであった。

昨年度と比較すると、満足度と重要度のどちらも全体的に減少したことから、要望度に大きな変化は見られなかった。

その中でも、昨年度と比較して変化が大きかった項目は、要望度0.84の「安全・安心体制」で昨年度（0.69、15位）より0.15ポイント増加し、8位に大きく順位を上げ、要望度0.65の「公共交通」が昨年度（0.88、7位）より0.23ポイント減少し、15位に大きく順位を下げた。

図表 16 項目別要望度 (重要度－満足度) (点数順)

順位		項 目	要望度 ※			
R3	R2			R3	R2	増減 (R3-R2)
1	1	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	↗	1.42	1.36	0.06
2	2	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↗	1.20	1.26	▲ 0.06
3	3	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	←	1.06	1.06	0.00
4	4	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	↗	0.92	0.99	▲ 0.07
5	5	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	↗	0.91	0.97	▲ 0.06
6	6	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	←	0.90	0.89	0.01
7	10	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に取り組んでいます。	←	0.87	0.84	0.03
8	15	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	↑	0.84	0.69	0.15
9	12	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	←	0.83	0.79	0.04
10	9	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	←	0.82	0.85	▲ 0.03
11	8	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	↗	0.81	0.87	▲ 0.06
12	11	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	↗	0.76	0.82	▲ 0.06
13	13	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	←	0.75	0.76	▲ 0.01
14	14	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	0.73	0.71	0.02
15	7	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↓	0.65	0.88	▲ 0.23
16	16	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	←	0.59	0.63	▲ 0.04
17	16	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	↗	0.57	0.63	▲ 0.06
17	21	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	↗	0.57	0.46	0.11
19	22	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	↗	0.53	0.44	0.09
20	19	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	←	0.50	0.53	▲ 0.03
20	23	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	↗	0.50	0.42	0.08
22	20	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	←	0.49	0.47	0.02
23	18	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↗	0.46	0.58	▲ 0.12
24	24	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	←	0.37	0.38	▲ 0.01
25	26	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	↗	0.36	0.24	0.12
26	25	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	↗	0.28	0.37	▲ 0.09
27	27	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	←	0.16	0.14	0.02
28	28	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	←	0.07	0.11	▲ 0.04
29	29	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	↗	0.00	-0.05	0.05

※要望度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↗	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↘	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

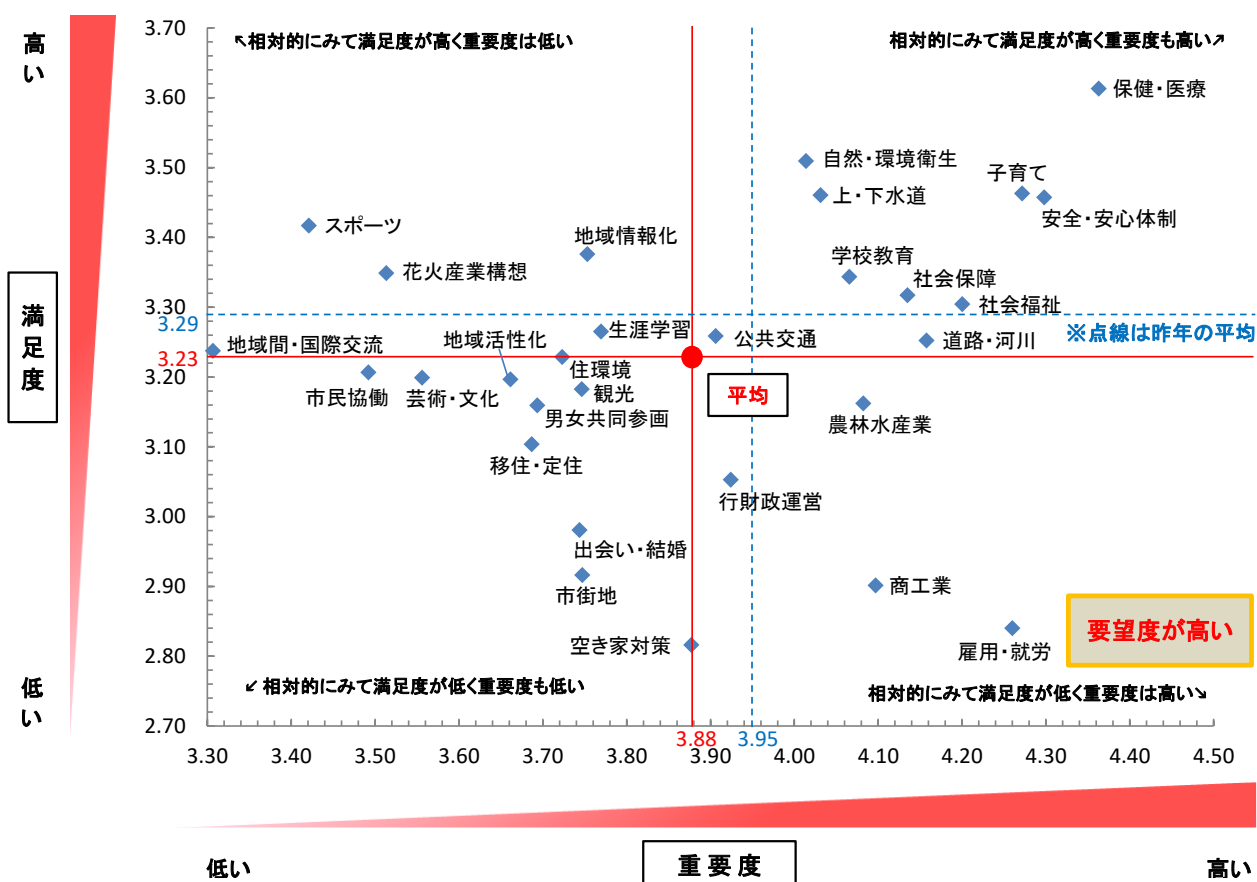
2.4.8 満足度、重要度の総括

満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸として要望度の高さを示した散布図を作成した。図表 17 は、29 項目の満足度と重要度のそれぞれの位置を示したものである。

図の右上に位置するほど満足度と重要度が高い項目となり、逆に図の左下に位置するほど満足度と重要度が低い項目となっている。満足度が低く重要度が高い項目（図の右下にある項目）ほど相対的に要望が高い項目となっている。

今回の満足度と重要度の結果から相対的に要望が高い項目は、昨年度同様「雇用・就労」「商工業」となっている。

図表 17 満足度・重要度の項目別比較



2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較

18歳から39歳まで(図表18)、40歳から64歳まで(図表19)、65歳以上(図表20)の3つの年齢層別に散布図を作成し比較した。

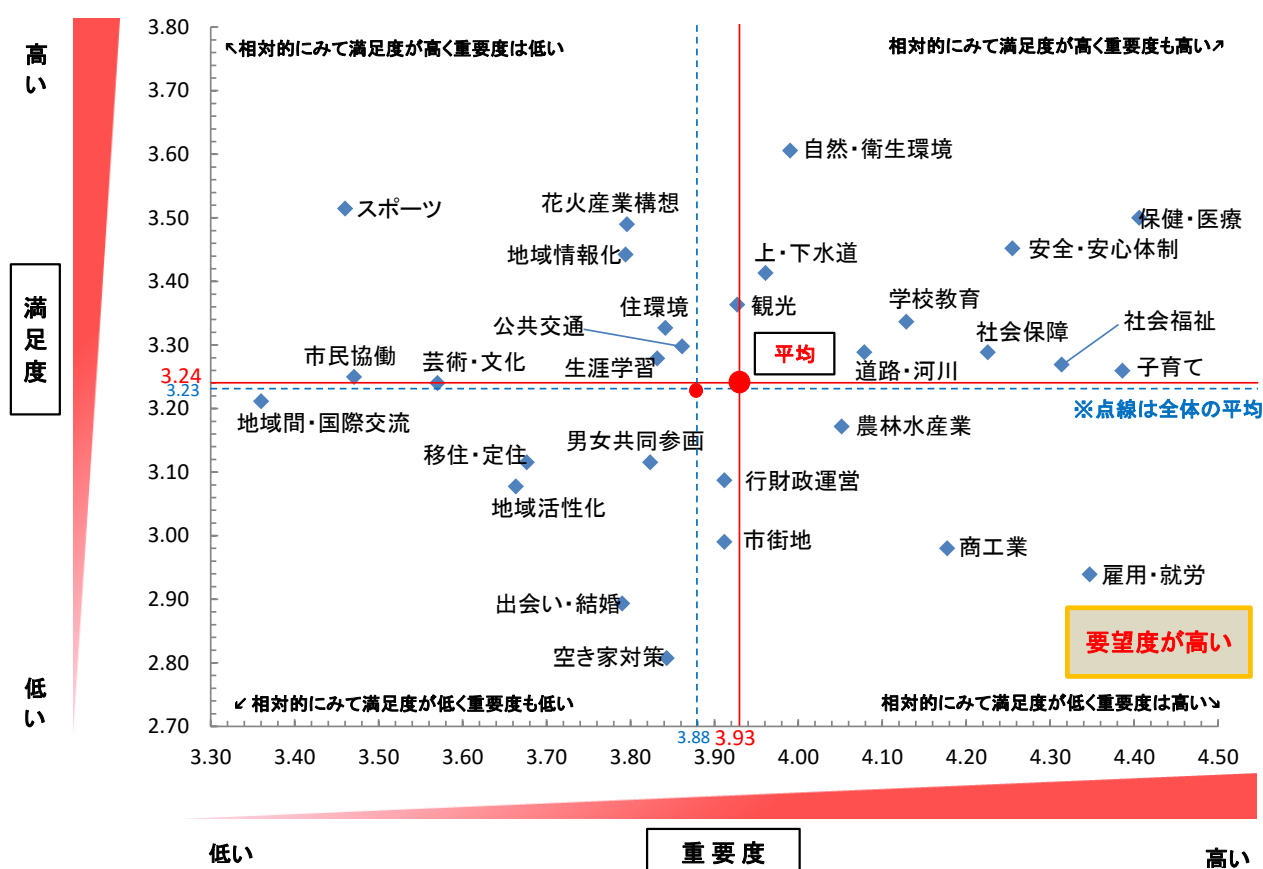
18歳から39歳までの年齢層では、全般的に重要度が高くなっており、相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」「商工業」となっている。満足度は、他の年齢層では「保健・医療」が最も高いのに対し、「自然・衛生環境」が最も高くなっている。

40歳から64歳までの年齢層では、全般的に満足度と重要度のどちらも低くなっており、相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」「商工業」となっている。満足度は、他の年齢層では「空き家対策」が最も低いのに対し、「雇用・就労」が最も低くなっている。

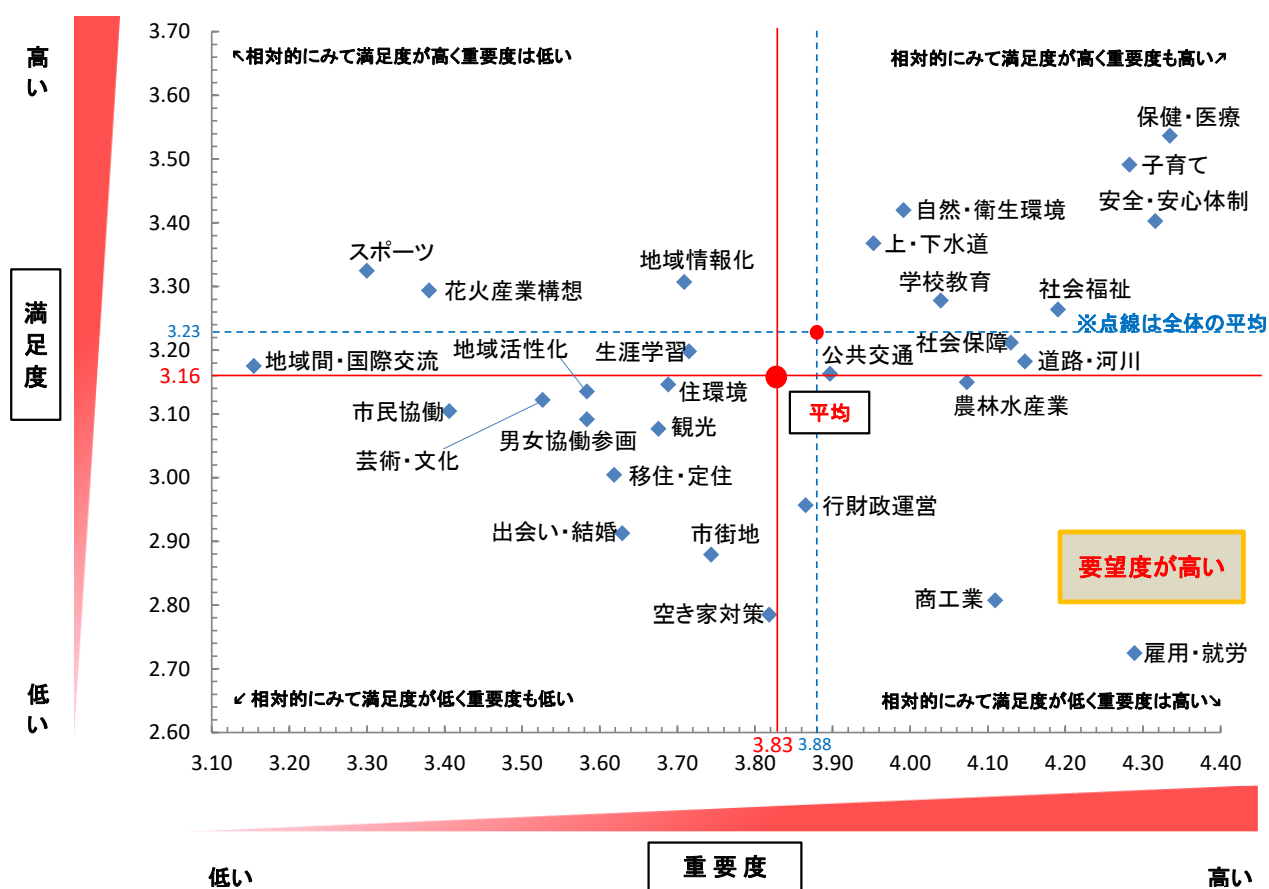
65歳以上の年齢層では、全般的に満足度が高くなっており、相対的に要望が高い項目は、他の年齢層に共通する「雇用・就労」「商工業」に加え、「空き家対策」も高くなっている。

重要度は、全ての年齢層で「保健・医療」が最も高く、「地域間・国際交流」が最も低くなっている。また、18歳から39歳までと65歳以上の年齢層では、散布図左上の「相対的にみて満足度が高く重要度は低い」にあたる位置に分布する項目が多く、40歳から64歳までの年齢層では、散布図左下の「相対的にみて満足度が低く重要度も低い」にあたる位置に分布する項目が多くなっている。

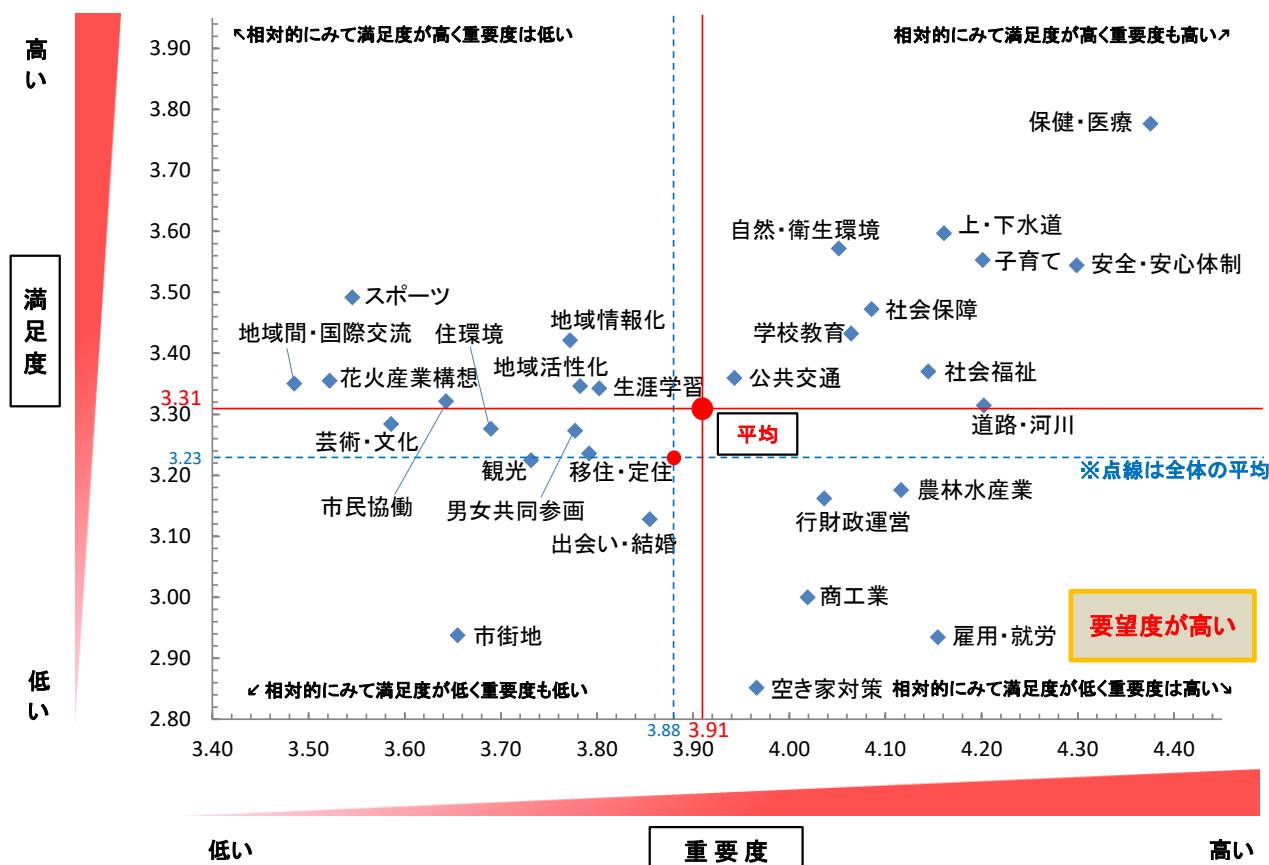
図表18 満足度・重要度の項目別比較(18歳から39歳)



図表 19 満足度・重要度の項目別比較（40 歳から 64 歳）



図表 20 満足度・重要度の項目別比較（65 歳以上）



2.5 さらに推進すべき取り組み

2.5.1 産業分野に関する設問について

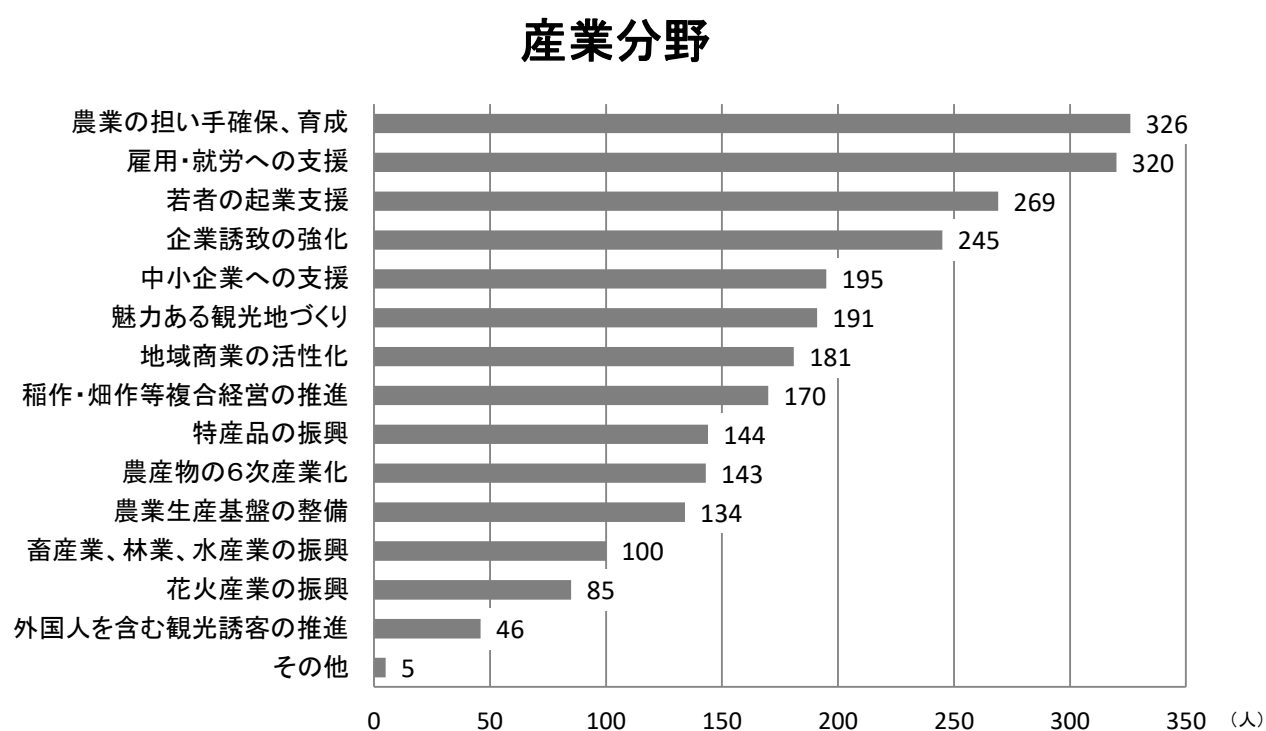
さらに推進すべき取り組みの上位は、「農業の担い手確保、育成」「雇用・就労への支援」「若者の起業支援」の順となっている。

一方、下位は、「外国人を含む観光誘客の推進」「花火産業の振興」「畜産業、林業、水産業の振興」の順となっている。

年代別で見ると、10代では「若者の起業支援」が最も多くなっており、30代以下及び80代では「地域商業の活性化」、40代以上では「企業誘致の強化」が上位に入っている。

地域別で見ると、上位の項目に大きな差異は見られないが、神岡地域では「若者の起業支援」が最も多くなっており、中仙地域では全体の上位5項目に入っていない「魅力ある観光地づくり」「地域商業の活性化」の2項目が上位に入っている。

図表 21 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 22 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者の起業支援	6
2	雇用・就労への支援	5
	農業の担い手確保、育成	5
	魅力ある観光地づくり	5
5	地域商業の活性化	3
	特産品の振興	3
	農産物の6次産業化	3

■20代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	23
2	若者の起業支援	22
3	農業の担い手確保、育成	17
4	地域商業の活性化	15
5	中小企業への支援	13

■30代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	41
2	農業の担い手確保、育成	34
3	若者の起業支援	28
	中小企業への支援	28
5	地域商業の活性化	26

■40代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	50
2	若者の起業支援	44
3	雇用・就労への支援	43
4	中小企業への支援	32
	企業誘致の強化	32

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	66
2	農業の担い手確保、育成	55
3	企業誘致の強化	49
4	若者の起業支援	41
5	魅力ある観光地づくり	31

■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	78
2	雇用・就労への支援	72
3	企業誘致の強化	55
	若者の起業支援	55
5	魅力ある観光地づくり	45
	中小企業への支援	45

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	62
2	企業誘致の強化	55
3	若者の起業支援	50
4	雇用・就労への支援	48
5	魅力ある観光地づくり	39

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	24
2	若者の起業支援	23
3	雇用・就労への支援	20
4	地域商業の活性化	17
5	企業誘致の強化	16
	稲作・畑作等複合経営の推進	16

図表 23 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	140
2	農業の担い手確保、育成	132
3	企業誘致の強化	113
4	若者の起業支援	108
5	魅力ある観光地づくり	94

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	若者の起業支援	22
2	雇用・就労への支援	20
3	農業の担い手確保、育成	19
4	企業誘致の強化	12
5	中小企業への支援	11

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	37
2	雇用・就労への支援	32
3	若者の起業支援	31
4	企業誘致の強化	26
5	稲作・畑作等複合経営の推進	24

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	34
2	雇用・就労への支援	29
3	若者の起業支援	22
4	魅力ある観光地づくり	21
5	地域商業の活性化	20

■協和地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	26
2	農業の担い手確保、育成	25
3	企業誘致の強化	24
4	若者の起業支援	19
5	魅力ある観光地づくり	19

■南外地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	18
2	農業の担い手確保、育成	18
3	若者の起業支援	16
4	中小企業への支援	13
5	魅力ある観光地づくり	12

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
2	雇用・就労への支援	25
3	若者の起業支援	23
4	企業誘致の強化	23
5	中小企業への支援	17
	地域商業の活性化	17

■太田地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
2	雇用・就労への支援	25
3	若者の起業支援	25
4	稲作・畑作等複合経営の推進	20
5	中小企業への支援	18

2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について

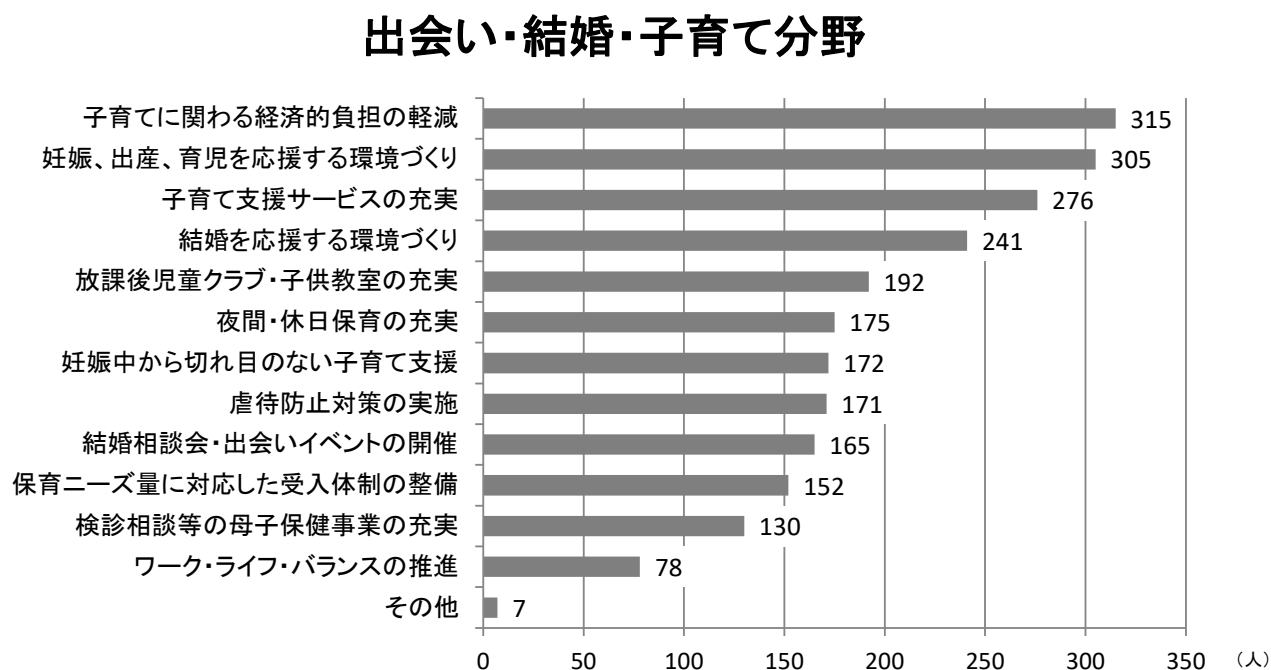
さらに推進すべき取り組みの上位は、「子育てに関わる経済的負担の軽減」「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」「子育て支援サービスの充実」の順となっている。

一方、下位は、「ワーク・ライフ・バランスの推進」「検診相談等の母子保健事業の充実」「保育ニーズ量に対応した受入体制の整備」の順となっている。

年代別で見ると、20代から40代までは「妊娠中から切れ目のない子育て支援」が他の年代にはなく上位に入っている。また、70代以上では「結婚を応援する環境づくり」が最も多くなっており、他の年代にはない「結婚相談会・出会いイベントの開催」が上位に入るなど、結婚に関する取り組みが上位になっている。

地域別で見ると、南外地域以外では子育てに関する内容が最も多くなっているが、南外地域では「結婚を応援する環境づくり」が最も多くなっている。また、大曲・西仙北・仙北地域では「放課後児童クラブ・子供教室の充実」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 24 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 25 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	6
2	結婚を応援する環境づくり	5
	夜間・休日保育の充実	5
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	4
	虐待防止対策の実施	4

■20代

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	27
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	25
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	23
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	18
5	夜間・休日保育の充実	16

■30代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	44
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	40
3	子育て支援サービスの充実	31
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	29
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	28

■40代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	52
2	子育て支援サービスの充実	50
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	49
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	33
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	31

■50代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	57
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	49
	子育て支援サービスの充実	49
4	結婚を応援する環境づくり	35
5	夜間・休日保育の充実	33

■60代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	73
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	69
3	子育て支援サービスの充実	59
4	結婚を応援する環境づくり	56
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	44

■70代

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	60
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	48
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	45
4	子育て支援サービスの充実	43
	結婚相談会・出会いイベントの開催	43

■80代

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	25
2	結婚相談会・出会いイベントの開催	21
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	18
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	18
5	虐待防止対策の実施	17

図表 26 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	142
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	133
3	子育て支援サービスの充実	117
4	結婚を応援する環境づくり	96
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	89

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	23
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	20
3	子育て支援サービスの充実	18
4	結婚を応援する環境づくり	15
5	保育ニーズ量に対応した受入体制の整備 夜間・休日保育の充実	12

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	36
2	子育て支援サービスの充実	32
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	28
4	結婚を応援する環境づくり	27
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	20

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	31
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	30
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	29
4	結婚を応援する環境づくり	25
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	19

■協和地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	25
2	結婚を応援する環境づくり	24
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
4	子育て支援サービスの充実	19
5	結婚相談会・出会いイベントの開催	14

■南外地域

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	17
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり 子育て支援サービスの充実	15
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	13
5	夜間・休日保育の充実 虐待防止対策の実施	12

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	27
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり 子育て支援サービスの充実	22
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	19
5	結婚を応援する環境づくり	16

■太田地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	26
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	25
3	子育て支援サービスの充実	20
4	結婚を応援する環境づくり 夜間・休日保育の充実	19

2. 5. 3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について

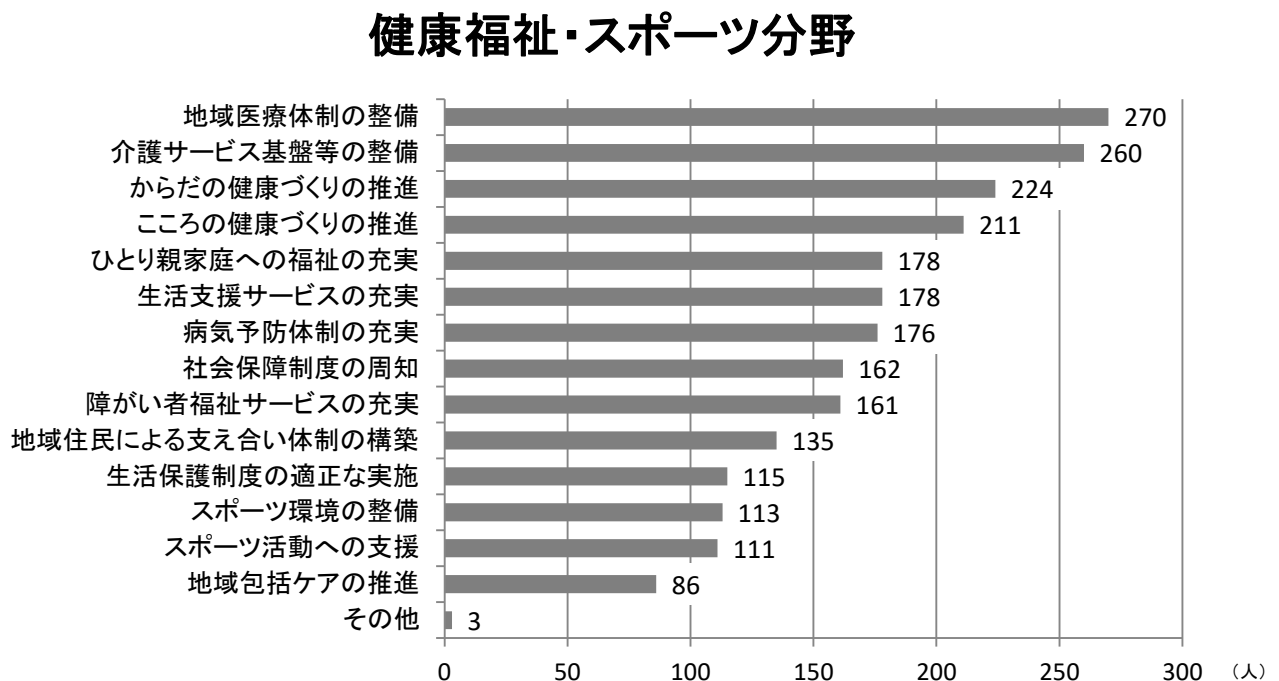
さらに推進すべき取り組みの上位は、「地域医療体制の整備」「介護サービス基盤等の整備」「からだの健康づくりの推進」の順となっている。

一方、下位は、「地域包括ケアの推進」「スポーツ活動への支援」「スポーツ環境の整備」の順となっている。

年代別で見ると、20代から60代までは「地域医療体制の整備」が最も多くなっている。また、30代以下では「ひとり親家庭への福祉の充実」、30代では全体で下位に入っている「スポーツ環境の整備」が他の年代にはなく上位に入っている。

地域別で見ると、最も多い回答として「地域医療体制の整備」を挙げている地域が多くなっている。また、全体の上位5項目に入っていない項目として「病気予防体制の充実」「社会保障制度の周知」が多く挙げられている。

図表 27 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 28 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくりの推進	6
2	からだの健康づくりの推進	5
	地域医療体制の整備	5
	病気予防体制の充実	3
	ひとり親家庭への福祉の充実	3
4	生活支援サービスの充実	3
	介護サービス基盤等の整備	3
	社会保障制度の周知	3
	生活保護制度の適正な実施	3

■20代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	23
2	生活支援サービスの充実	18
	介護サービス基盤等の整備	18
4	ひとり親家庭への福祉の充実	17
5	こころの健康づくりの推進	15

■30代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	31
2	介護サービス基盤等の整備	29
3	ひとり親家庭への福祉の充実	25
4	障がい者福祉サービスの充実	23
5	スポーツ環境の整備	22

■40代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	38
2	からだの健康づくりの推進	33
	介護サービス基盤等の整備	33
4	こころの健康づくりの推進	28
5	病気予防体制の充実	27
	社会保障制度の周知	27

■50代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	52
2	介護サービス基盤等の整備	50
3	こころの健康づくりの推進	35
	生活支援サービスの充実	35
5	からだの健康づくりの推進	32

■60代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	61
2	介護サービス基盤等の整備	59
3	からだの健康づくりの推進	54
4	こころの健康づくりの推進	47
	病気予防体制の充実	47

■70代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	48
2	からだの健康づくりの推進	47
3	こころの健康づくりの推進	41
4	地域医療体制の整備	40
5	生活支援サービスの充実	36

■80代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	20
	こころの健康づくりの推進	19
2	介護サービス基盤等の整備	19
	障がい者福祉サービスの充実	19
5	地域医療体制の整備	17

図表 29 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	121
2	介護サービス基盤等の整備	111
3	こころの健康づくりの推進	91
4	からだの健康づくりの推進	90
5	病気予防体制の充実	87

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	16
	介護サービス基盤等の整備	16
3	からだの健康づくりの推進	14
	こころの健康づくりの推進	13
4	ひとり親家庭への福祉の充実	13
	社会保障制度の周知	13

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	28
2	からだの健康づくりの推進	24
	介護サービス基盤等の整備	24
4	社会保障制度の周知	22
5	こころの健康づくりの推進	21

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	28
2	介護サービス基盤等の整備	26
3	からだの健康づくりの推進	24
4	こころの健康づくりの推進	20
5	ひとり親家庭への福祉の充実	19
	生活支援サービスの充実	19

■協和地域

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくりの推進	19
	介護サービス基盤等の整備	19
3	地域医療体制の整備	18
4	からだの健康づくりの推進	16
5	ひとり親家庭への福祉の充実	15

■南外地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	20
2	からだの健康づくりの推進	16
	こころの健康づくりの推進	12
3	地域医療体制の整備	12
	障がい者福祉サービスの充実	12

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	22
2	からだの健康づくりの推進	20
3	介護サービス基盤等の整備	18
4	こころの健康づくりの推進	16
5	病気予防体制の充実	14
	社会保障制度の周知	14

■太田地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	22
2	地域医療体制の整備	20
	病気予防体制の充実	20
4	こころの健康づくりの推進	19
5	からだの健康づくりの推進	18
	ひとり親家庭への福祉の充実	18

2.5.4 環境安全分野に関する設問について

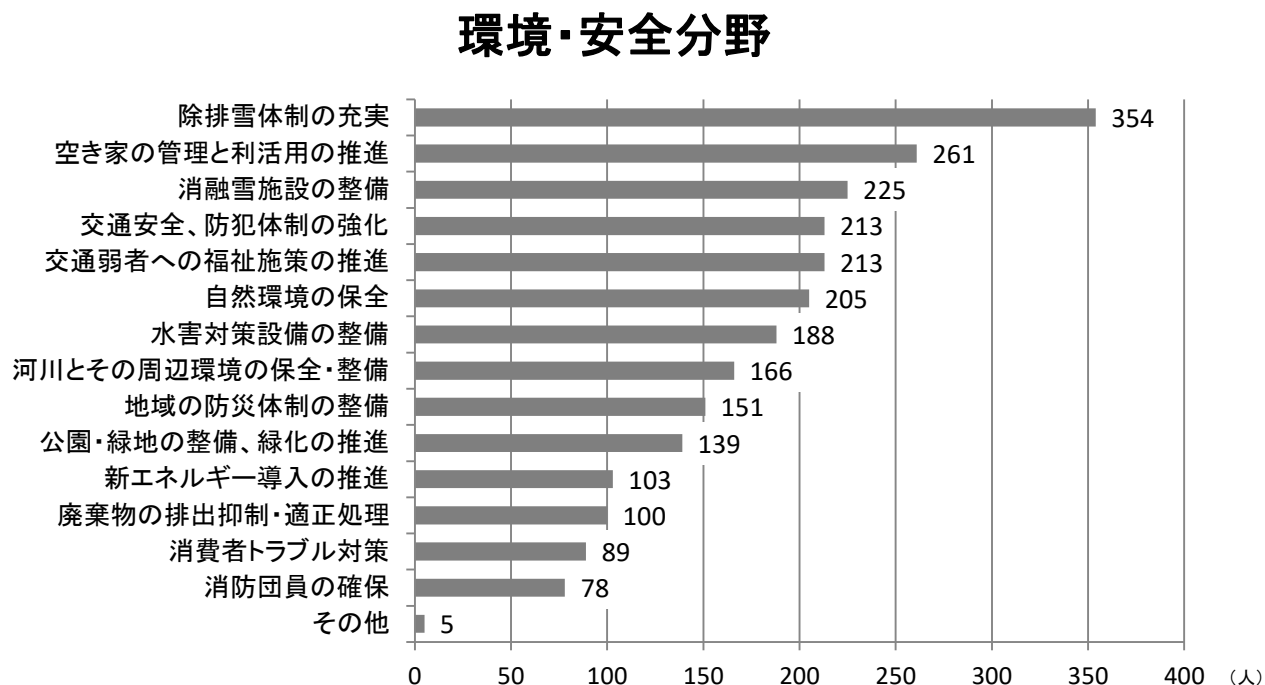
さらに推進すべき取り組みの上位は、「除排雪体制の充実」「空き家の管理と利活用の推進」「消融雪施設の整備」の順となっている。

一方、下位は、「消防団員の確保」「消費者トラブル対策」「廃棄物の排出抑制・適正処理」の順となっている。

年代別で見ると、70代以下では「除排雪体制の充実」が最も多くなっている。また、40代と50代以外では「自然環境の保全」が上位に入っており、10代では同数で最も多くなっている。

地域別で見ると、全ての地域で「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、大曲・西仙北地域では「消融雪施設の整備」が他の地域にはなく上位に入っている。また、全体の上位5項目に入っていない項目として「自然環境の保全」が多く挙げられている。

図表 30 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 31 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	自然環境の保全	5
	除排雪体制の充実	5
	空き家の管理と利活用の推進	5
4	交通安全、防犯体制の強化	4
5	交通弱者への福祉施策の推進	3
	消融雪施設の整備	3
	廃棄物の排出抑制・適正処理	3
	公園・緑地の整備、緑化の推進	3

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	24
2	交通弱者への福祉施策の推進	16
3	消融雪施設の整備	14
4	空き家の管理と利活用の推進	12
5	自然環境の保全	11
	消費者トラブル対策	11
	地域の防災体制の整備	11
	水害対策設備の整備	11

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	45
2	消融雪施設の整備	34
3	空き家の管理と利活用の推進	28
4	自然環境の保全	23
5	水害対策設備の整備	22
	河川とその周辺環境の保全・整備	22
	公園・緑地の整備、緑化の推進	22

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	55
2	消融雪施設の整備	41
3	交通安全、防犯体制の強化	36
4	空き家の管理と利活用の推進	33
5	水害対策設備の整備	31

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	68
2	交通弱者への福祉施策の推進	39
3	交通安全、防犯体制の強化	38
4	消融雪施設の整備	37
	空き家の管理と利活用の推進	37

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	76
2	空き家の管理と利活用の推進	70
3	交通安全、防犯体制の強化	48
	交通弱者への福祉施策の推進	48
5	自然環境の保全	45

■70代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	57
2	空き家の管理と利活用の推進	51
3	自然環境の保全	45
4	交通弱者への福祉施策の推進	44
5	消融雪施設の整備	41

■80代

順位	項目	回答数
1	空き家の管理と利活用の推進	24
2	除排雪体制の充実	23
3	交通弱者への福祉施策の推進	19
4	交通安全、防犯体制の強化	18
5	自然環境の保全	16

図表 32 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	153
2	消融雪施設の整備	121
3	空き家の管理と利活用の推進	105
4	交通弱者への福祉施策の推進	93
5	自然環境の保全	91

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	25
2	自然環境の保全	13
	交通安全、防犯体制の強化	13
	交通弱者への福祉施策の推進	13
	空き家の管理と利活用の推進	13

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	43
2	空き家の管理と利活用の推進	29
3	消融雪施設の整備	28
4	水害対策設備の整備	25
5	交通安全、防犯体制の強化	23
	交通弱者への福祉施策の推進	23

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	29
2	交通弱者への福祉施策の推進	27
3	交通安全、防犯体制の強化	26
	空き家の管理と利活用の推進	26
5	自然環境の保全	22
	地域の防災体制の整備	22

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	24
2	空き家の管理と利活用の推進	22
3	交通安全、防犯体制の強化	18
4	自然環境の保全	16
5	交通弱者への福祉施策の推進	14

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	20
2	交通弱者への福祉施策の推進	17
3	空き家の管理と利活用の推進	15
4	交通安全、防犯体制の強化	14
	水害対策設備の整備	14

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	31
2	空き家の管理と利活用の推進	25
3	交通安全、防犯体制の強化	18
	河川とその周辺環境の保全・整備	18
5	地域の防災体制の整備	17

■太田地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	26
2	空き家の管理と利活用の推進	24
3	自然環境の保全	18
	交通安全、防犯体制の強化	18
5	廃棄物の排出抑制・適正処理	12

2. 5. 5 都市基盤分野に関する設問について

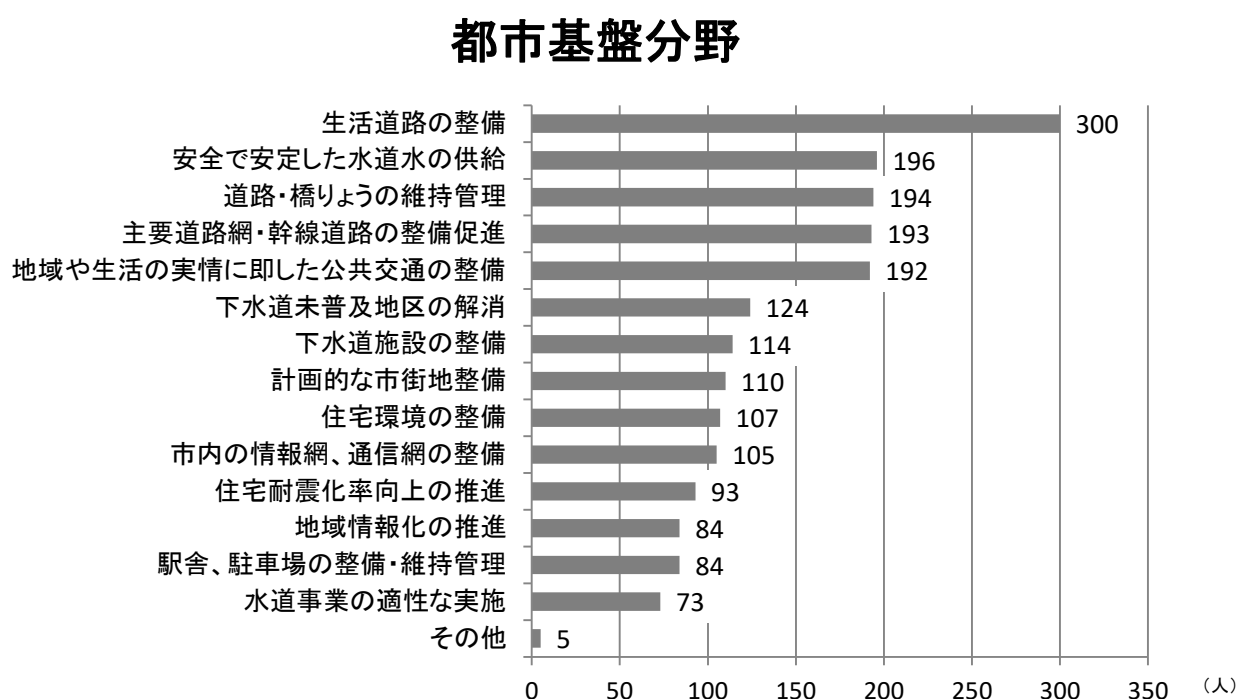
さらに推進すべき取り組みの上位は、「生活道路の整備」「安全で安定した水道水の供給」「道路・橋りょうの維持管理」の順となっている。

一方、下位は、「水道事業の適性な実施」「駅舎、駐車場の整備・維持管理」「地域情報化の推進」の順となっている。

年代別で見ると、20代以上では「生活道路の整備」が最も多くなっており、20代以下では「駅舎、駐車場の整備・維持管理」、20代と30代では「住宅環境の整備」が他の年代にはなく上位に入っている。また、40代以上では「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」が上位に入っており、80代では下水道に関する項目が2つとも上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「生活道路の整備」が最も多くなっている。また、南外地域以外では全体の上位5項目が全て挙げられているが、南外地域では「住宅環境の整備」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 33 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 34 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	道路・橋りょうの維持管理	6
2	生活道路の整備	4
	駅舎、駐車場の整備・維持管理	4
	主要道路網・幹線道路の整備促進	3
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	3
	住宅耐震化率向上の推進	3
	下水道未普及地区の解消	3

■20代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	22
	主要道路網・幹線道路の整備促進	14
2	駅舎、駐車場の整備・維持管理	14
	住宅環境の整備	14
	安全で安定した水道水の供給	14

■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	33
2	道路・橋りょうの維持管理	24
	安全で安定した水道水の供給	24
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	21
5	住宅環境の整備	19

■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	42
2	安全で安定した水道水の供給	34
3	道路・橋りょうの維持管理	33
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	25
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	25

■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	57
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	39
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	38
4	道路・橋りょうの維持管理	31
5	安全で安定した水道水の供給	29

■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	67
2	道路・橋りょうの維持管理	50
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	45
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	40
5	安全で安定した水道水の供給	36

■70代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	55
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	45
3	安全で安定した水道水の供給	38
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	35
5	道路・橋りょうの維持管理	32

■80代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	19
	安全で安定した水道水の供給	19
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	16
4	住宅耐震化率向上の推進	14
	主要道路網・幹線道路の整備促進	11
5	下水道施設の整備	11
	下水道未普及地区の解消	11

図表 35 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	122
2	道路・橋りょうの維持管理	88
3	安全で安定した水道水の供給	87
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	83
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	81

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	17
2	道路・橋りょうの維持管理	14
3	安全で安定した水道水の供給	11
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	9
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	9

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	39
2	道路・橋りょうの維持管理	22
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	22
4	安全で安定した水道水の供給	19
5	主要道路網・幹線道路の整備促進	17

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	32
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	24
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	22
4	安全で安定した水道水の供給	19
5	道路・橋りょうの維持管理	18

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	22
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	19
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	17
4	安全で安定した水道水の供給	15
	道路・橋りょうの維持管理	9
5	駅舎、駐車場の整備・維持管理	9
	計画的な市街地整備	9

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	16
2	道路・橋りょうの維持管理	13
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	10
	安全で安定した水道水の供給	10
5	住宅環境の整備	9

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	26
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	18
	安全で安定した水道水の供給	18
4	道路・橋りょうの維持管理	15
5	主要道路網・幹線道路の整備促進	14

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	23
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	17
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	15
	安全で安定した水道水の供給	15
5	道路・橋りょうの維持管理	14

2.5.6 教育・交流分野に関する設問について

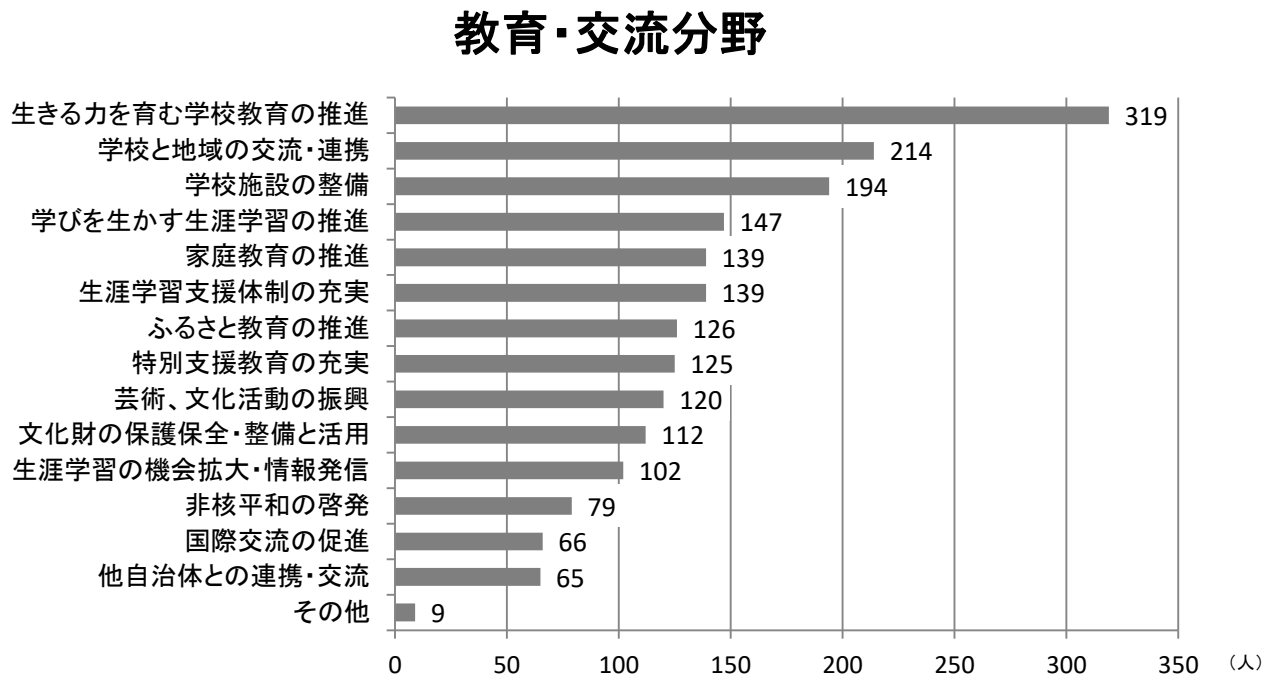
さらに推進すべき取り組みの上位は、「生きる力を育む学校教育の推進」「学校と地域の交流・連携」「学校施設の整備」の順となっている。

一方、下位は、「他自治体との連携・交流」「国際交流の促進」「非核平和の啓発」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生きる力を育む学校教育の推進」が最も多くなっている。次いで多い項目は、50代以下では「学校施設の整備」、60代以上では「学校と地域の交流・連携」となっている。

地域別で見ると、全ての地域で「生きる力を育む学校教育の推進」が最も多くなっている。また、大曲・南外・太田地域では「家庭教育の推進」、中仙・協和・仙北地域では「文化財の保護保全・整備と活用」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 36 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 37 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	6
2	学校施設の整備	5
3	学びを生かす生涯学習の推進	4
4	学校と地域の交流・連携	3
5	特別支援教育の充実	2
	生涯学習支援体制の充実	2
	生涯学習の機会拡大・情報発信	2
	芸術、文化活動の振興	2
	文化財の保護保全・整備と活用	2
	非核平和の啓発	2
	国際交流の促進	2

■20代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	21
2	学校施設の整備	20
3	学校と地域の交流・連携	15
4	家庭教育の推進	12
5	芸術、文化活動の振興	11

■30代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	33
2	学校施設の整備	30
3	学校と地域の交流・連携	21
4	文化財の保護保全・整備と活用	17
5	家庭教育の推進	16
	学びを生かす生涯学習の推進	16

■40代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	46
2	学校施設の整備	37
3	学校と地域の交流・連携	30
4	特別支援教育の充実	25
5	学びを生かす生涯学習の推進	23

■50代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	58
2	学校施設の整備	32
3	学校と地域の交流・連携	30
4	学びを生かす生涯学習の推進	27
5	ふるさと教育の推進	23

■60代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	74
2	学校と地域の交流・連携	57
3	生涯学習支援体制の充実	37
4	家庭教育の推進	33
5	学校施設の整備	31
	特別支援教育の充実	31

■70代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	62
2	学校と地域の交流・連携	43
3	家庭教育の推進	28
	学校施設の整備	28
5	生涯学習支援体制の充実	27

■80代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	19
2	学校と地域の交流・連携	14
3	家庭教育の推進	13
	学びを生かす生涯学習の推進	13
5	学校施設の整備	11

図表 38 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	138
2	学校と地域の交流・連携	88
3	学校施設の整備	87
4	学びを生かす生涯学習の推進	74
5	家庭教育の推進	68

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	17
2	学校施設の整備	16
3	学校と地域の交流・連携	11
4	生涯学習支援体制の充実 学びを生かす生涯学習の推進	9

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	28
2	学校施設の整備	18
3	学校と地域の交流・連携	17
4	生涯学習支援体制の充実	16
5	学びを生かす生涯学習の推進	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	39
2	学校と地域の交流・連携	28
3	学校施設の整備 特別支援教育の充実	19
5	文化財の保護保全・整備と活用	17

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	28
2	学校と地域の交流・連携	18
3	学校施設の整備	13
4	生涯学習支援体制の充実	10
5	ふるさと教育の推進 文化財の保護保全・整備と活用	9

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	16
2	学校と地域の交流・連携	12
3	ふるさと教育の推進	11
4	特別支援教育の充実	9
5	家庭教育の推進	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	22
2	学校と地域の交流・連携	15
3	学校施設の整備 文化財の保護保全・整備と活用	14
5	生涯学習支援体制の充実	11

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	30
2	学校と地域の交流・連携	22
3	学校施設の整備	18
4	学びを生かす生涯学習の推進	16
5	家庭教育の推進	15

2. 5. 7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について

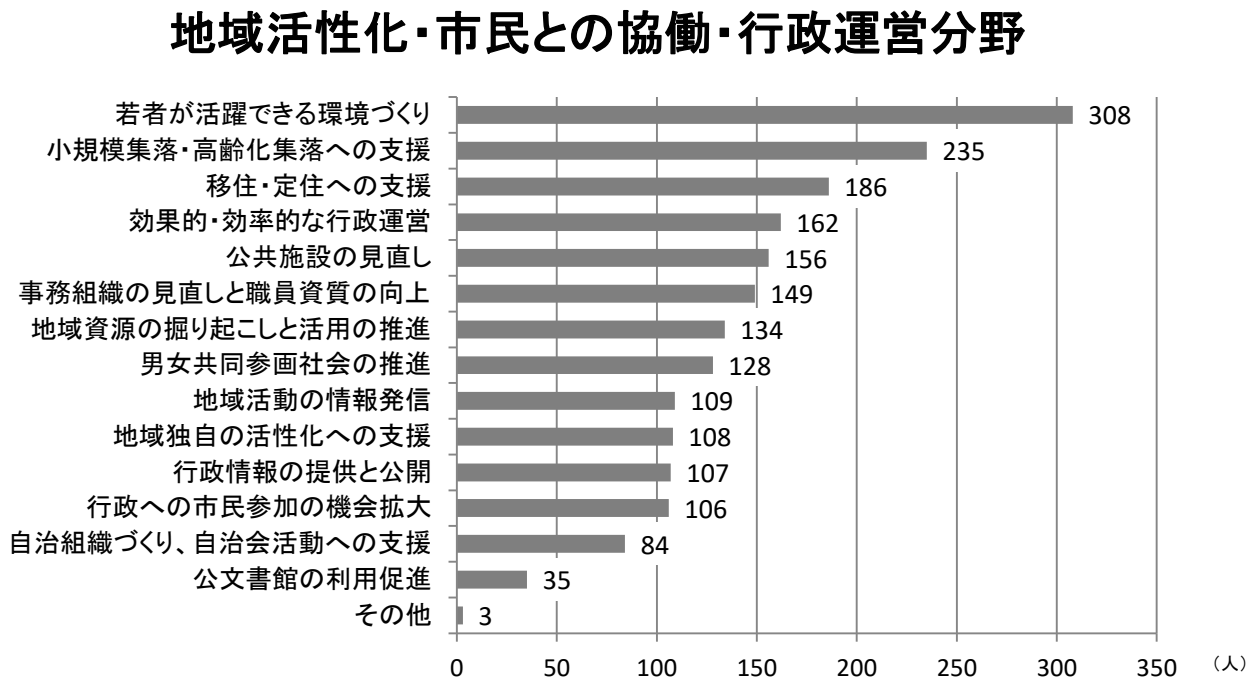
さらに推進すべき取り組みの上位は、「若者が活躍できる環境づくり」「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住への支援」の順となっている。

一方、下位は、「公文書館の利用促進」「自治組織づくり、自治会活動への支援」「行政への市民参加の機会拡大」の順となっている。

年代別で見ると、70代以外では「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっている。また、20代以下では「男女共同参画社会の推進」、40代と50代では「事務組織の見直しと職員資質の向上」、80代では「自治組織づくり、自治会活動への支援」が他の年代にはなく上位に入っている。

地域別で見ると、南外地域以外では「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっているが、南外地域では「小規模集落・高齢化集落への支援」が最も多くなっている。また、全体の上位5項目に入っていない項目として「事務組織の見直しと職員資質の向上」「地域資源の掘り起こしと活用の推進」が多く挙げられている。

図表 39 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 40 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	7
2	地域資源の掘り起こしと活用の推進	4
	男女共同参画社会の推進	4
4	小規模集落・高齢化集落への支援	3
	効果的・効率的な行政運営	3

■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	29
2	移住・定住への支援	15
3	男女共同参画社会の推進	13
	地域独自の活性化への支援	11
4	小規模集落・高齢化集落への支援	11
	公共施設の見直し	11

■30代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	33
2	移住・定住への支援	24
3	小規模集落・高齢化集落への支援	20
	効果的・効率的な行政運営	20
5	公共施設の見直し	19

■40代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	41
2	事務組織の見直しと職員資質の向上	26
3	効果的・効率的な行政運営	24
4	移住・定住への支援	23
5	小規模集落・高齢化集落への支援	22

■50代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	53
2	効果的・効率的な行政運営	39
3	小規模集落・高齢化集落への支援	37
	事務組織の見直しと職員資質の向上	37
5	公共施設の見直し	29

■60代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	70
2	小規模集落・高齢化集落への支援	69
3	移住・定住への支援	53
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	39
5	公共施設の見直し	38

■70代

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	56
2	若者が活躍できる環境づくり	53
3	移住・定住への支援	28
4	効果的・効率的な行政運営	27
5	公共施設の見直し	26

■80代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	21
2	小規模集落・高齢化集落への支援	16
3	行政への市民参加の機会拡大	15
4	自治組織づくり、自治会活動への支援	13
	移住・定住への支援	13

図表 41 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	131
2	小規模集落・高齢化集落への支援	92
3	移住・定住への支援	87
4	効果的・効率的な行政運営	77
5	公共施設の見直し	75

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	17
2	小規模集落・高齢化集落への支援	12
3	移住・定住への支援	11
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	9
	地域独自の活性化への支援	9
	事務組織の見直しと職員資質の向上	9
	公共施設の見直し	9

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	34
2	小規模集落・高齢化集落への支援	27
3	事務組織の見直しと職員資質の向上	19
4	効果的・効率的な行政運営	18
5	公共施設の見直し	16

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	34
2	小規模集落・高齢化集落への支援	30
3	効果的・効率的な行政運営	18
4	移住・定住への支援	17
	公共施設の見直し	17

■協和地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	21
2	小規模集落・高齢化集落への支援	20
3	移住・定住への支援	14
4	男女共同参画社会の推進	11
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	10

■南外地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	18
2	若者が活躍できる環境づくり	16
3	移住・定住への支援	12
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	11
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	8
	自治組織づくり、自治会活動への支援	8
	効果的・効率的な行政運営	8
	公共施設の見直し	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	24
2	小規模集落・高齢化集落への支援	17
3	移住・定住への支援	16
4	地域独自の活性化への支援	12
	男女共同参画社会の推進	12
	事務組織の見直しと職員資質の向上	12

■太田地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	27
2	小規模集落・高齢化集落への支援	18
3	移住・定住への支援	15
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	14
	効果的・効率的な行政運営	14

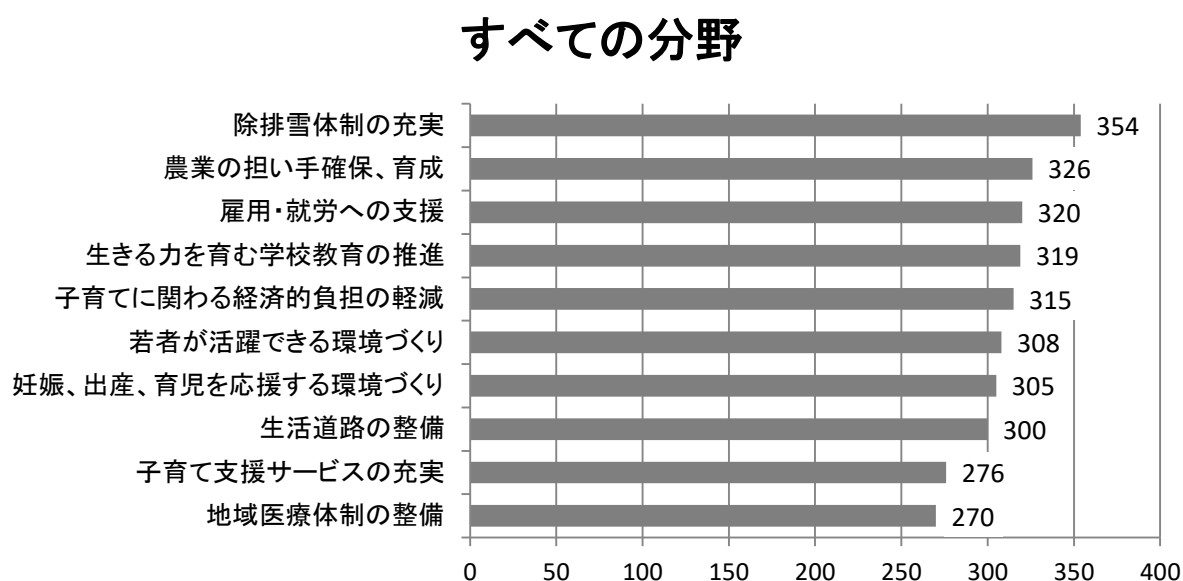
2.5.8 さらに推進すべき取り組みの総括

分野を分けずに全ての項目において比較すると、さらに推進すべき取り組みの上位となっているのは、「除排雪体制の充実」「農業の担い手確保、育成」「雇用・就労への支援」「生きる力を育む学校教育の推進」「子育てに関わる経済的負担の軽減」の順となっている。

年代別で見ると、10代と20代では「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっており、10代と80代では「若者の起業支援」も上位に挙がるなど、若者への支援に関する項目が上位となっている。20代から50代までは子育てに関する項目が多く挙がっており、20代から40代までは50代よりも上位に挙がっている。30代から50代までは「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、60代では2番目に多くなっている。60代と70代では「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっており、また、他の年代にはない「小規模集落・高齢化集落への支援」が上位に挙がっている。80代では「結婚を応援する環境づくり」が最も多くなっており、また、他の年代にはない「結婚相談会・出会いイベントの開催」も上位に挙げられ、結婚支援に関する内容が上位となっている。

地域別で見ると、最も多い回答として「除排雪体制の充実」を挙げている地域が多くなっている。大曲・神岡地域以外では「農業の担い手確保、育成」が2、3番目に多くなっており、大曲・神岡地域では子育てに関する項目が他の地域と比べて上位となっている。南外地域では「介護サービス基盤等の整備」が最も多くなっており、「交通弱者への福祉施策の推進」「からだの健康づくりの推進」も含め、他の地域にはない項目が多く挙がっている。また、中仙・南外地域で挙げられている「小規模集落・高齢化集落への支援」も南外地域では上位となっている。

図表 42 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 43 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	7
2	若者の起業支援	6
	子育てに関わる経済的負担の軽減	6
2	こころの健康づくりの推進	6
	道路・橋りょうの維持管理	6
6	生きる力を育む学校教育の推進	6
	農業の担い手確保、育成	5
8	魅力ある観光地づくり	5
	雇用・就労への支援	5
8	結婚を応援する環境づくり	5
	夜間・休日保育の充実	5
7	からだの健康づくりの推進	5
	地域医療体制の整備	5
10	自然環境の保全	5
	除排雪体制の充実	5
10	空き家の管理と利活用の推進	5
	学校施設の整備	5

■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	29
2	子育て支援サービスの充実	27
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	25
4	除排雪体制の充実	24
5	雇用・就労への支援	23
	子育てに関わる経済的負担の軽減	23
8	地域医療体制の整備	23
	若者の起業支援	22
10	生活道路の整備	22
	生きる力を育む学校教育の推進	21

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	45
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	44
3	雇用・就労への支援	41
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	40
5	農業の担い手確保、育成	34
	消融雪施設の整備	34
7	生活道路の整備	33
	生きる力を育む学校教育の推進	33
10	若者が活躍できる環境づくり	33
	子育て支援サービスの充実	31
10	地域医療体制の整備	31

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	55
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	52
3	農業の担い手確保、育成	50
	子育て支援サービスの充実	50
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	49
6	生きる力を育む学校教育の推進	46
7	若者の起業支援	44
8	雇用・就労への支援	43
9	生活道路の整備	42
10	消融雪施設の整備	41
	若者が活躍できる環境づくり	41

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	68
2	雇用・就労への支援	66
3	生きる力を育む学校教育の推進	58
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	57
	生活道路の整備	57
6	農業の担い手確保、育成	55
7	若者が活躍できる環境づくり	53
8	地域医療体制の整備	52
9	介護サービス基盤等の整備	50
10	企業誘致の強化	49
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	49
10	子育て支援サービスの充実	49

■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	78
2	除排雪体制の充実	76
3	生きる力を育む学校教育の推進	74
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	73
5	雇用・就労への支援	72
6	空き家の管理と利活用の推進	70
	若者が活躍できる環境づくり	70
8	子育てに関わる経済的負担の軽減	69
	小規模集落・高齢化集落への支援	69
10	生活道路の整備	67

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	62
	生きる力を育む学校教育の推進	62
3	結婚を応援する環境づくり	60
4	除排雪体制の充実	57
5	小規模集落・高齢化集落への支援	56
6	企業誘致の強化	55
	生活道路の整備	55
8	若者が活躍できる環境づくり	53
9	空き家の管理と利活用の推進	51
10	若者の起業支援	50

■80代

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	25
2	農業の担い手確保、育成	24
	空き家の管理と利活用の推進	24
4	若者の起業支援	23
	除排雪体制の充実	23
6	結婚相談会・出会いイベントの開催	21
	若者が活躍できる環境づくり	21
8	雇用・就労への支援	20
	からだの健康づくりの推進	20
	こころの健康づくりの推進	19
	介護サービス基盤等の整備	19
	障がい者福祉サービスの充実	19
10	交通弱者への福祉施策の推進	19
	生活道路の整備	19
	安全で安定した水道水の供給	19
	生きる力を育む学校教育の推進	19

図表 44 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	153
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	142
3	雇用・就労への支援	140
4	生きる力を育む学校教育の推進	138
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	133
6	農業の担い手確保、育成	132
7	若者が活躍できる環境づくり	131
8	生活道路の整備	122
9	地域医療体制の整備	121
	消融雪施設の整備	121

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	25
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	23
3	若者の起業支援	22
4	雇用・就労への支援	20
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	20
6	農業の担い手確保、育成	19
7	子育て支援サービスの充実	18
	生活道路の整備	17
8	生きる力を育む学校教育の推進	17
	若者が活躍できる環境づくり	17

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	43
2	生活道路の整備	39
3	農業の担い手確保、育成	37
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	36
5	若者が活躍できる環境づくり	34
6	雇用・就労への支援	32
	子育て支援サービスの充実	32
8	若者の起業支援	31
9	空き家の管理と利活用の推進	29
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	28
10	地域医療体制の整備	28
	消融雪施設の整備	28
	生きる力を育む学校教育の推進	28

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	39
2	農業の担い手確保、育成	34
	若者が活躍できる環境づくり	34
4	生活道路の整備	32
5	子育て支援サービスの充実	31
6	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	30
	小規模集落・高齢化集落への支援	30
	雇用・就労への支援	29
8	子育てに関わる経済的負担の軽減	29
	除排雪体制の充実	29

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	28
2	雇用・就労への支援	26
3	農業の担い手確保、育成	25
	子育てに関わる経済的負担の軽減	25
	企業誘致の強化	24
5	結婚を応援する環境づくり	24
	除排雪体制の充実	24
8	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
9	空き家の管理と利活用の推進	22
	生活道路の整備	22

■南外地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	20
	除排雪体制の充実	20
	農業の担い手確保、育成	18
3	雇用・就労への支援	18
	小規模集落・高齢化集落への支援	18
6	結婚を応援する環境づくり	17
	交通弱者への福祉施策の推進	17
	若者の起業支援	16
	からだの健康づくりの推進	16
8	生活道路の整備	16
	生きる力を育む学校教育の推進	16
	若者が活躍できる環境づくり	16

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	31
2	農業の担い手確保、育成	29
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	27
4	生活道路の整備	26
5	雇用・就労への支援	25
	空き家の管理と利活用の推進	25
7	若者が活躍できる環境づくり	24
8	企業誘致の強化	23
	若者の起業支援	23
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	22
10	子育て支援サービスの充実	22
	地域医療体制の整備	22
	生きる力を育む学校教育の推進	22

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	30
2	農業の担い手確保、育成	29
3	若者が活躍できる環境づくり	27
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	26
	除排雪体制の充実	26
	若者の起業支援	25
6	雇用・就労への支援	25
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	25
9	空き家の管理と利活用の推進	24
10	生活道路の整備	23

2.6 あなたが思う大仙市について

2.6.1 市内在住の経緯に関する設問について

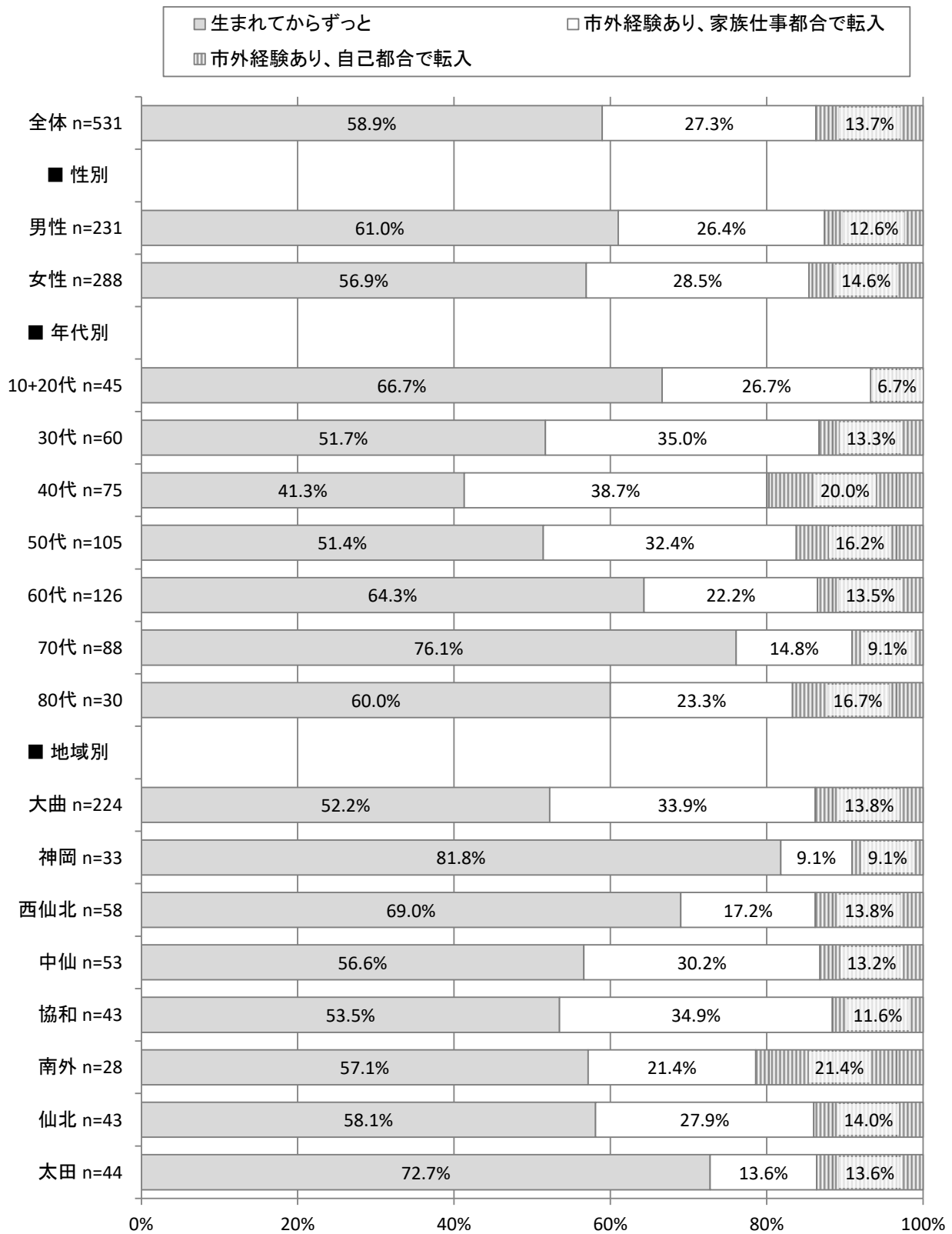
現在、大仙市に住んでいる経緯については、「生まれてからずっと住んでいる（以下、「生まれてからずっと」）」の割合が58.9%で最も高く、次いで「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」）」が27.3%、「市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、自己都合で転入」）」が13.7%となっている。

性別で見ると、大きな差異は見られないが、「生まれてからずっと」の割合は男性が61.0%、女性が56.9%となっており、男性の方が4.1ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「生まれてからずっと」の割合が最も高いのは70代で76.1%となっている。一方、最も低いのは40代で41.3%となっており、40代を境に年代が増加または減少するにつれて高くなっている。ただし、80代については、70代から大きく減少し、「市外経験あり、自己都合で転入」の割合が比較的高くなっている。また、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」「市外経験あり、自己都合で転入」の割合が最も高いのは、どちらも40代となっており、80代を除き、40代を境に年代が増加または減少するにつれてどちらも低くなっている。

地域別で見ると、「生まれてからずっと」の割合が最も高いのは神岡地域で81.8%となっており、最も低いのは大曲地域で52.2%となっている。「市外経験あり、家族仕事都合で転入」の割合が最も高いのは協和地域で34.9%、「市外経験あり、自己都合で転入」の割合が最も高いのは南外地域で21.4%となっている。

図表 45 大仙市に住んでいる経緯



2.6.2 「住みやすさ」に関する設問について

■住みやすいか

大仙市は住みやすいまちだと思うか、という設問については、「どちらかといえば住みやすい」の割合が55.0%で最も高く、次いで「住みやすい」が27.7%となっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の割合を合わせると、82.7%となっており、8割を超えている。

性別で見ると、大きな差異は見られないが、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、女性が3.8ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、10代と20代を合わせた年代が70.4%で最も低く、70代が87.5%で最も高くなっている。年代が上がるにつれて増加する傾向となっているが、30代では前後の年代から大きく増加し、80代では減少している。

地域別で見ると、「住みやすい」の割合は大曲地域が31.6%で最も高くなっているが、さらに「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は神岡地域が94.1%で最も高くなっている。「住みにくい」の割合と、さらに「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合は、どちらも南外地域が最も高くなっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「住みやすい」の割合と、さらに「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、どちらも「生まれてからずっと」と回答した方が最も高くなっている。また、「住みにくい」の割合と、さらに「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合は、どちらも「市外経験あり、自己都合で転入」と回答した方が最も高くなっている。

■住み続けたいか

これからも大仙市に住み続けたいと思うか、という設問については、「今の場所に住み続けたい」の割合が71.9%で最も高くなっており、7割を超えている。

性別で見ると、大きな差異は見られないが、男性では「住み続けたいが、移らざるを得ない」の割合が比較的高くなっている。

年代別で見ると、「今の場所に住み続けたい」の割合は、年代が上がるにつれて増加する傾向となっており、60代以上では8割を超えている。「市外に移りたい」の割合は、逆に年

代が下がるにつれて増加する傾向となっており、10代と20代を合わせた年代では、24.4%となっている。また、「市内の別の場所へ移りたい」の割合は、30代から50代で比較的高くなっている。

地域別で見ると、「今の場所に住みたい」の割合は神岡地域が88.2%、「市内の別の場所へ移りたい」の割合は南外地域が32.1%で最も高くなっている。また、「市外に移りたい」の割合は、大曲・西仙北・協和・南外地域で比較的高くなっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「今の場所に住みたい」の割合は「生まれてからずっと」と回答した方が77.3%で最も高くなっている。「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方は、「今の場所に住みたい」の割合が最も低く、「市外に移りたい」の割合は最も高くなっている。

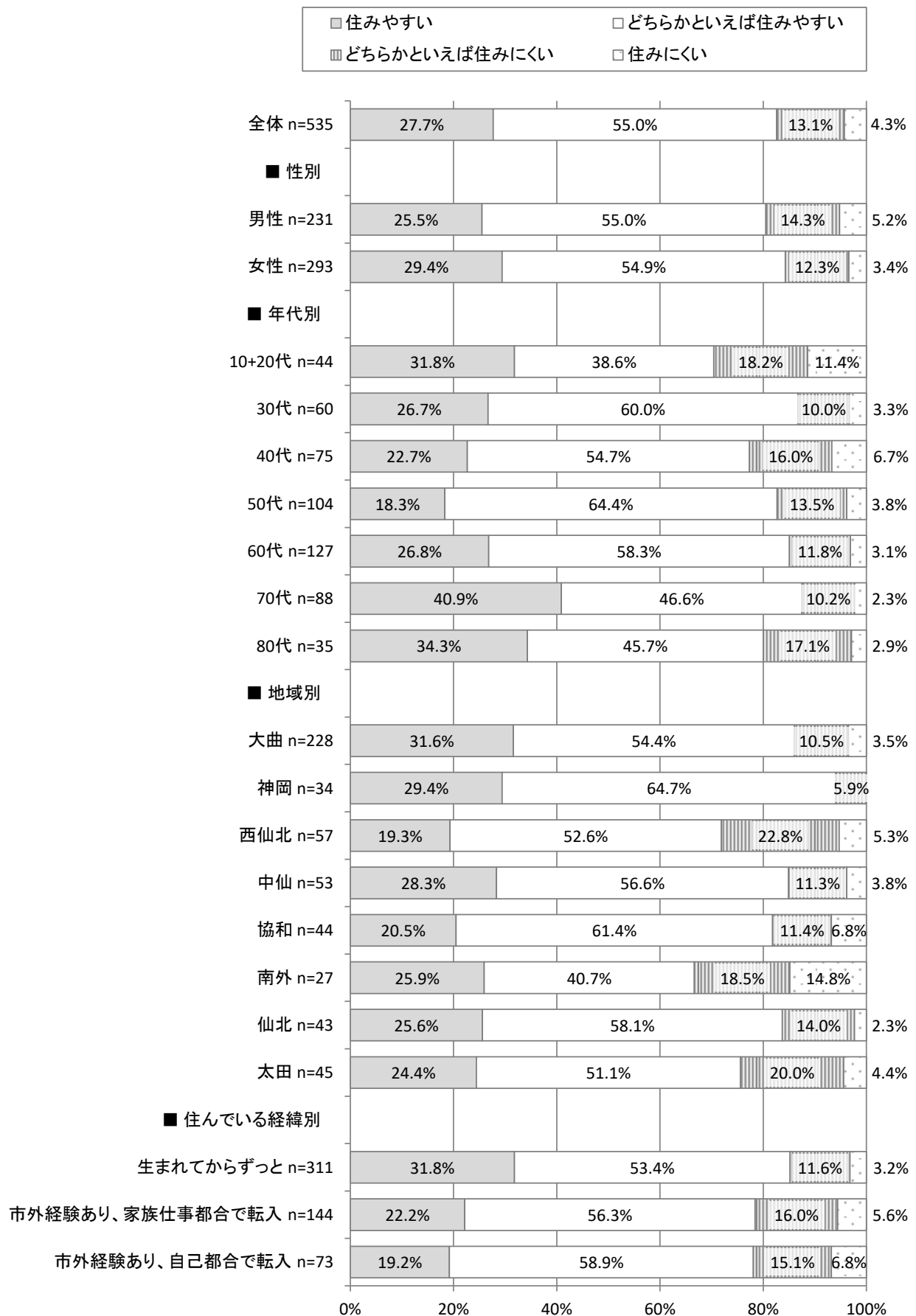
■「住みやすいか」と「住み続けたいか」の比較

性別で見ると、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、女性が高くなっているが、「今の場所に住みたい」「市内の別の場所へ移りたい」「住み続けたいが、移らざるを得ない」を合わせた、市内に住み続けたいと思っている方の割合は、男性がやや高くなっている。

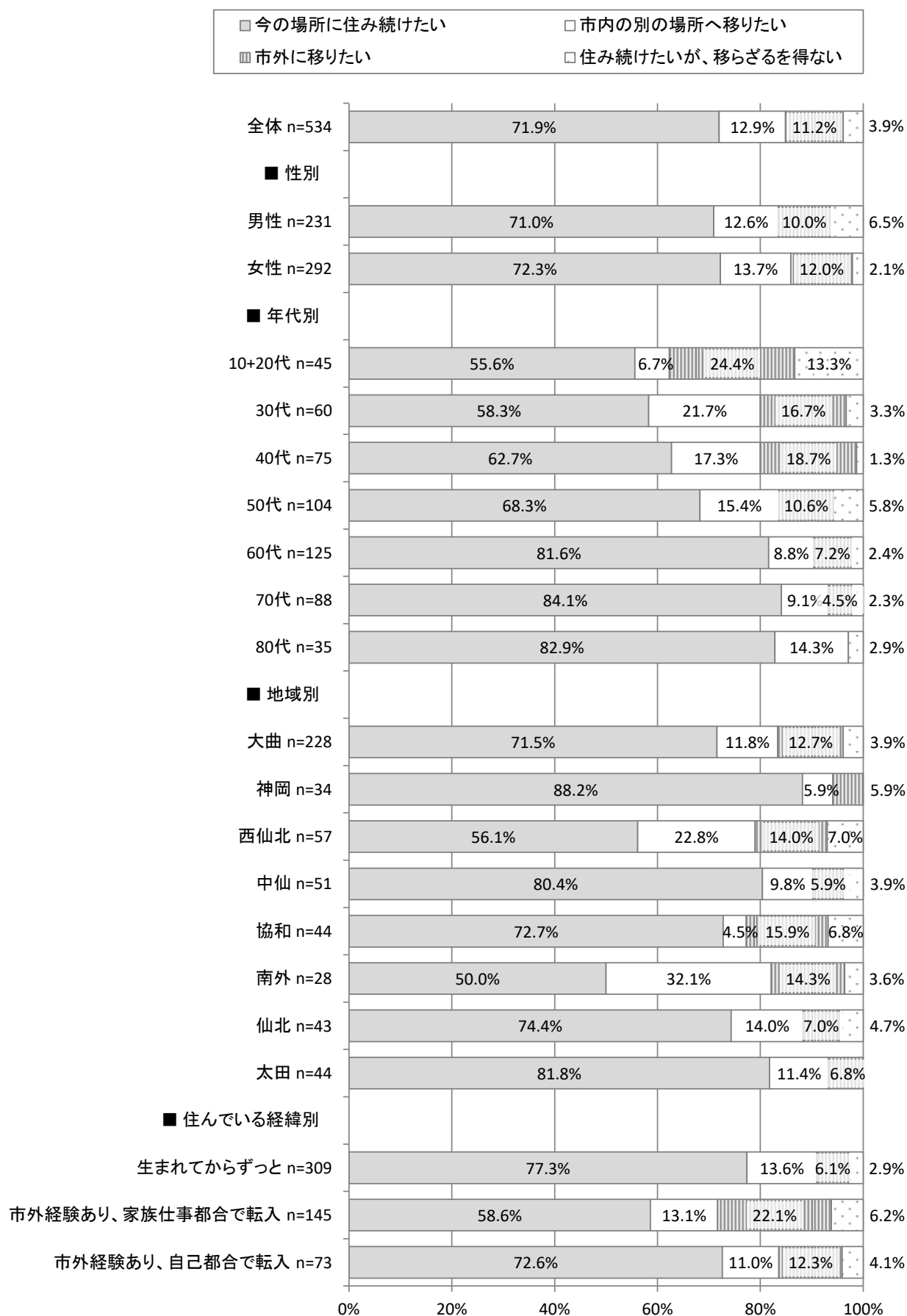
年代別で見ると、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合と「今の場所に住みたい」の割合は、概ね同様の傾向となっており、年代が上がるにつれて増加する傾向となっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、大きな差異は見られなかったのに対し、「今の場所に住みたい」の割合は、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方が低くなっており、「市外に移りたい」の割合は高くなっている。

図表 46 大仙市は住みやすいか



図表 47 大仙市に住み続けたいか



2.6.3 社会活動・地域活動に関する設問について

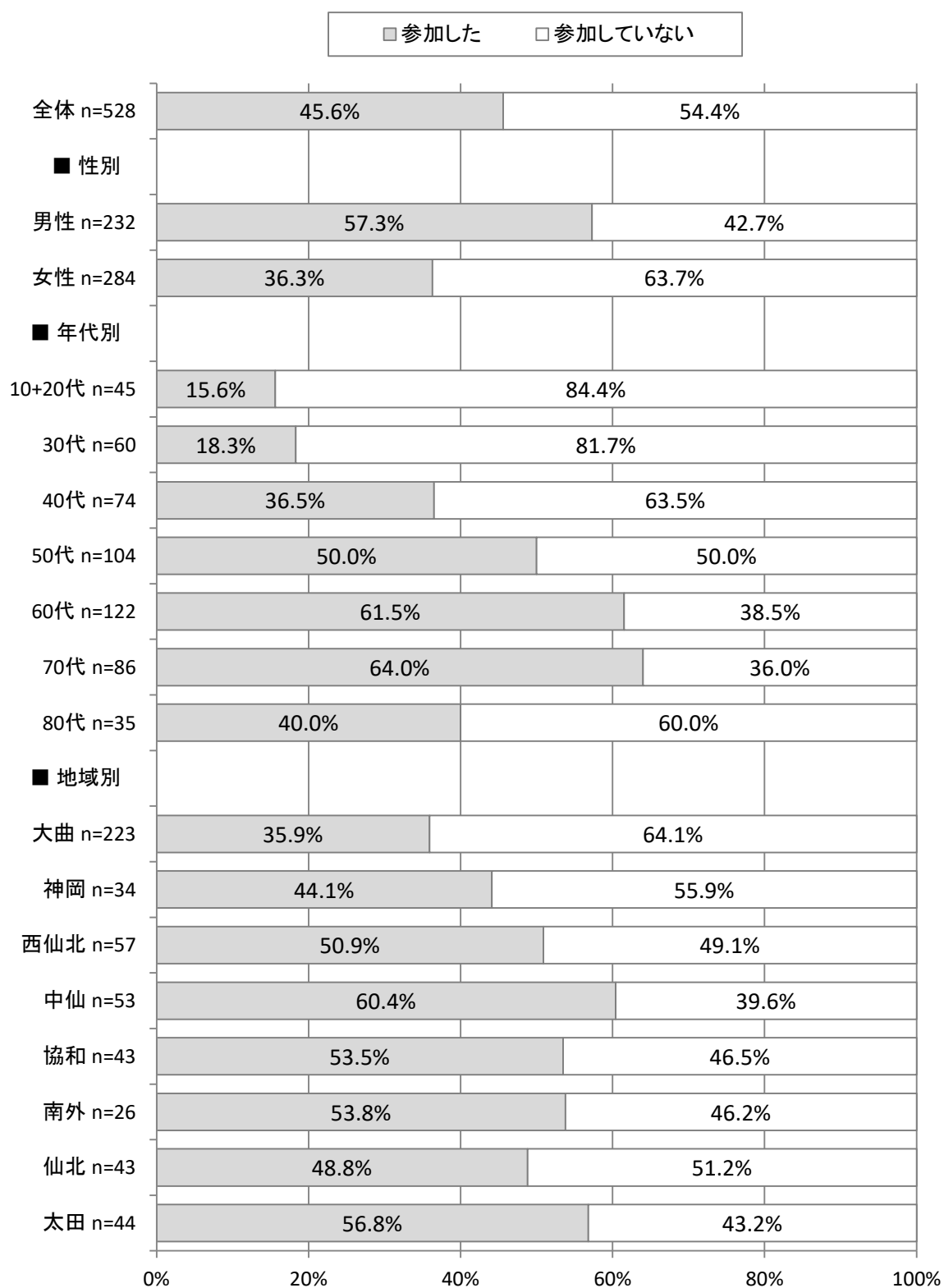
ここ1年間で、仕事以外で社会活動や地域活動（自治会、PTA、環境保全、見守り活動など）に参加したか、という設問については、「参加した」の割合が45.6%となっており、「参加していない」の割合より8.8ポイント低くなっている。

性別で見ると、「参加した」の割合は、男性が57.3%、女性が36.3%となっており、男性が21.0ポイント高く、大きく差が開いている。

年代別で見ると、「参加した」の割合は、70代までは年代が上がるにつれて増加しているが、80代では減少している。また、50代から70代では半数以上を占め、さらに60代と70代では6割を超えているが、30代以下では2割を下回っている。

地域別で見ると、「参加した」の割合は大曲地域が35.9%で最も低くなっており、大曲・神岡・仙北地域以外では半数を超え、中仙地域が60.4%で最も高くなっている。

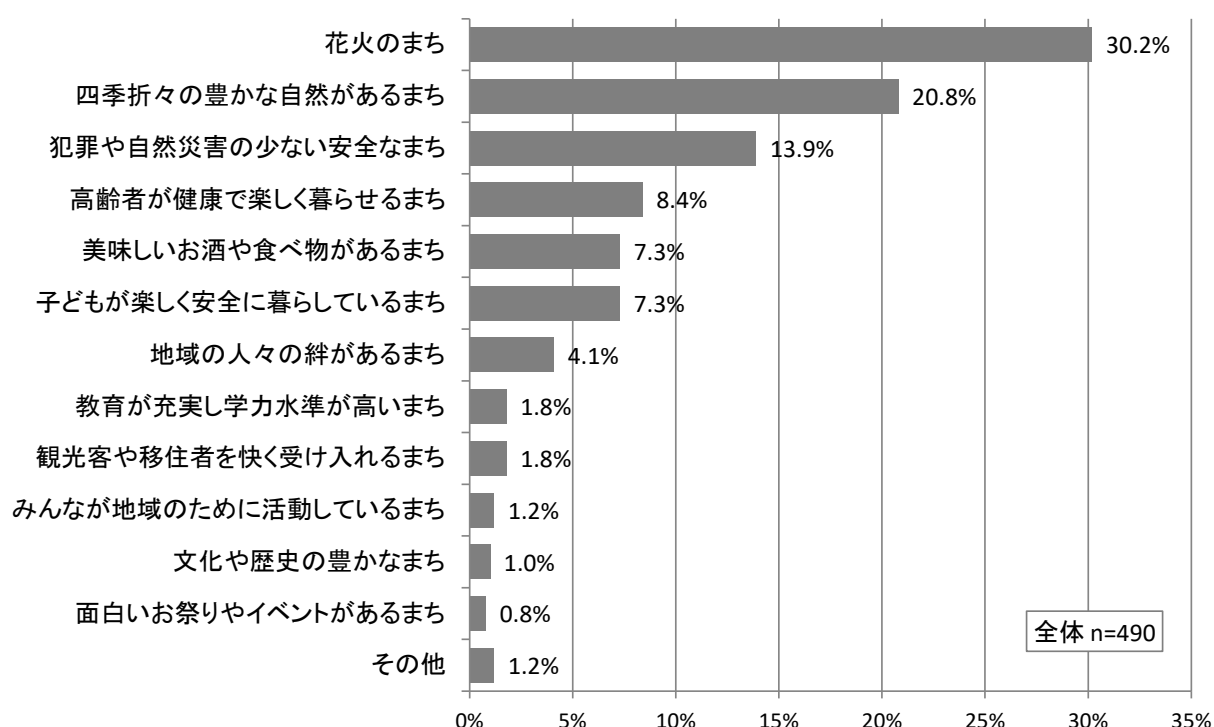
図表 48 社会活動、地域活動に参加したか



2.6.4 未来のまちの姿に関する設問について

10年後、大仙市を市外の知人に紹介する場合、どのようなまちとして紹介していきたいか（回答は一つ）という設問に対して、「花火のまち」が30.2%で突出しており、次いで「四季折々の豊かな自然があるまち」が20.8%、「犯罪や自然災害の少ない安全なまち」が13.9%となっている。

図表 49 10年後、「大仙市」を知人へどのように紹介するか



■その他の回答

- 子どもの医療が整っている（40代／女性／大曲）
- 10年後は人口も激減していると思うので、今は答えられない。あまり希望は持てないです。花火の街だけはあってほしいです。（60代／女性／大曲）
- 最先端技術にポジティブな町（30代／男性／大曲）
- 子育て世代への援助がしっかりとしたまち（20代／女性／南外）

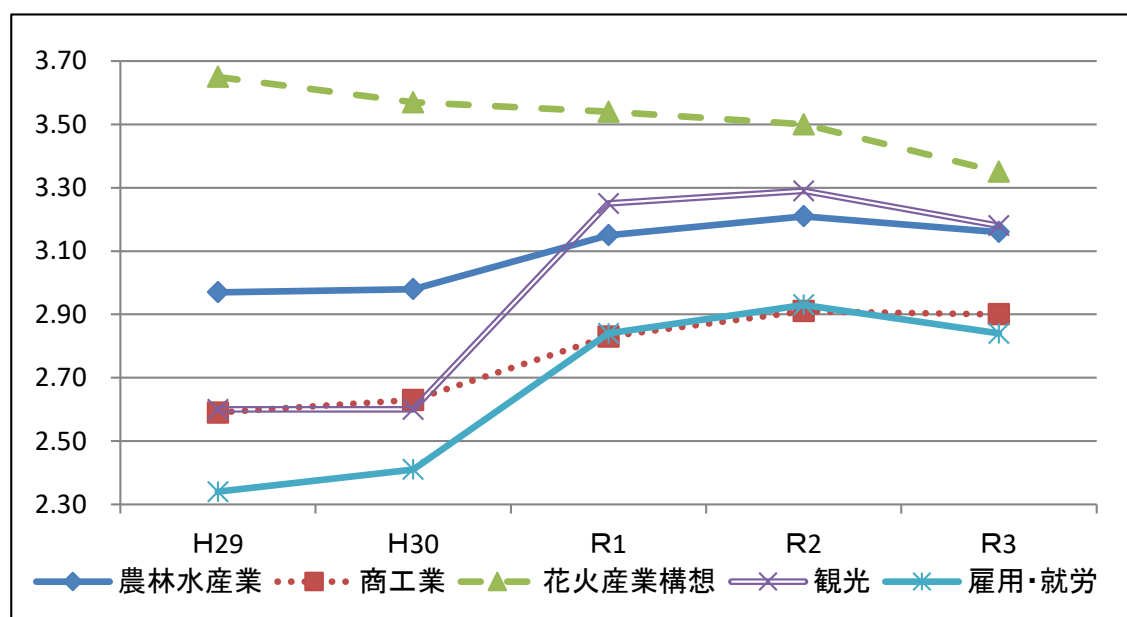
2.7 経年比較

平成29年度から令和3年度までの5年間における満足度、重要度及び要望度の推移と、平成28年度から調査を行っている本市の住みやすさについての6年間の推移をまとめた。

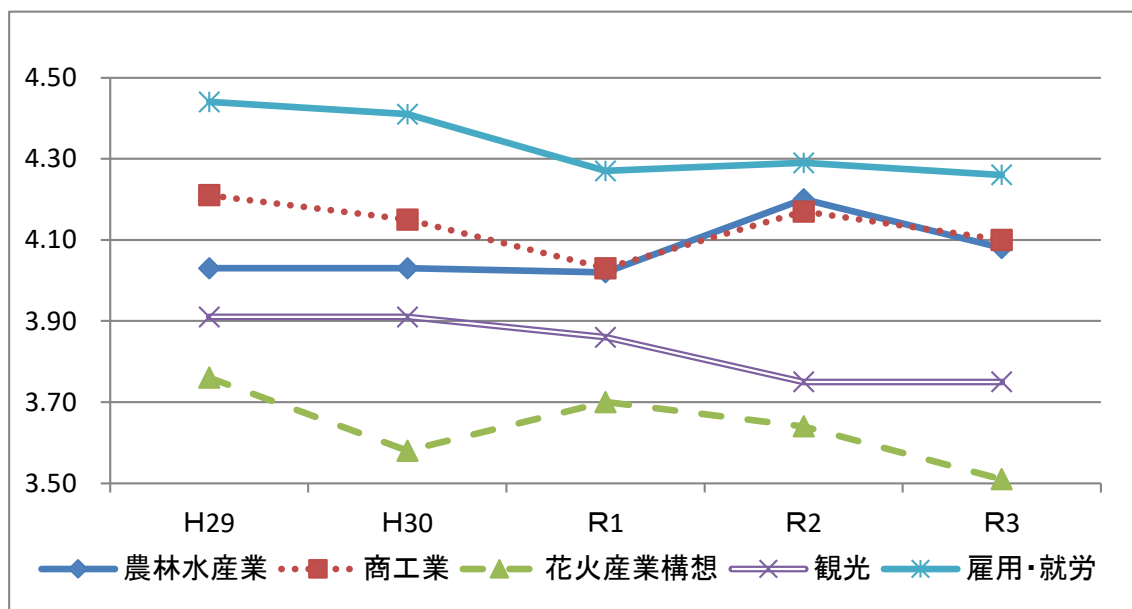
I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

満足度は「花火産業構想」のみ減少傾向で、それ以外は増加傾向となっていたが、今年度は全体的に横ばいまたは減少している。重要度は、全体的に横ばいまたは減少傾向となっている。要望度については、「花火産業構想」以外は減少傾向であったが、令和元年度からは、全体的に横ばいとなっている。

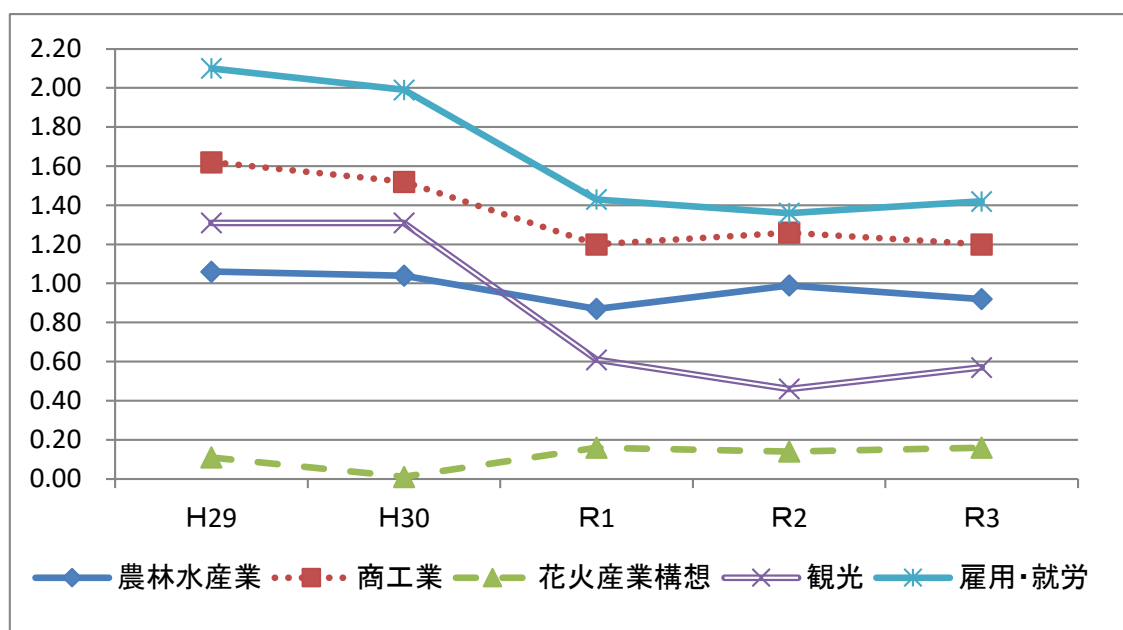
満足度	H29	H30	R1	R2	R3
農林水産業	2.97	2.98	3.15	3.21	3.16
商工業	2.59	2.63	2.83	2.91	2.90
花火産業構想	3.65	3.57	3.54	3.50	3.35
観光	2.60	2.60	3.25	3.29	3.18
雇用・就労	2.34	2.41	2.84	2.93	2.84



重要度	H29	H30	R1	R2	R3
農林水産業	4.03	4.03	4.02	4.20	4.08
商工業	4.21	4.15	4.03	4.17	4.10
花火産業構想	3.76	3.58	3.70	3.64	3.51
観光	3.91	3.91	3.86	3.75	3.75
雇用・就労	4.44	4.41	4.27	4.29	4.26



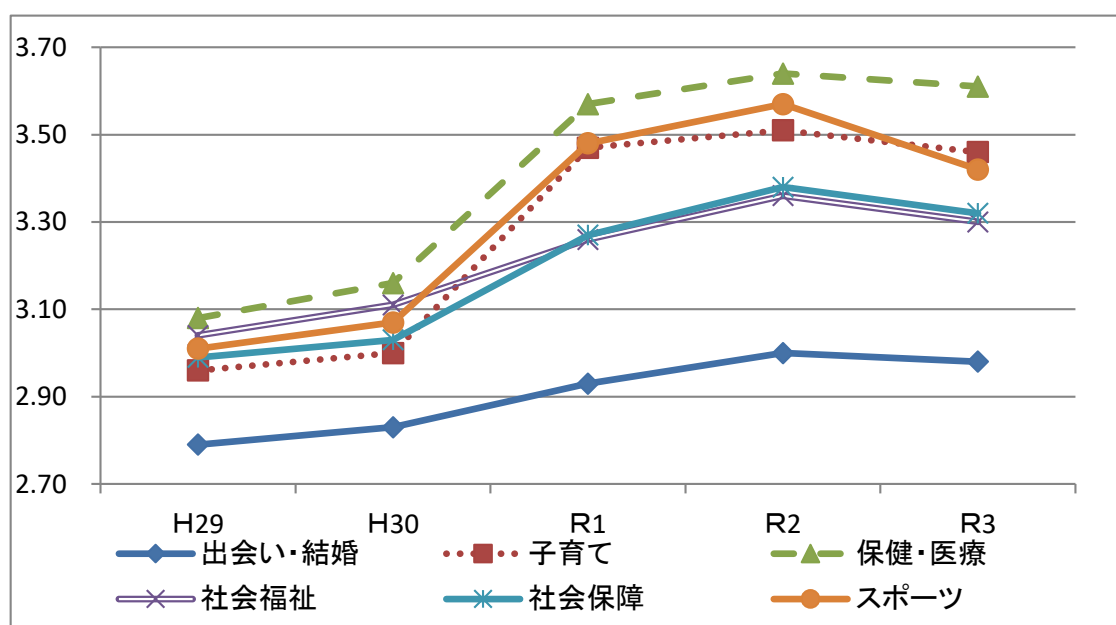
要望度	H29	H30	R1	R2	R3
農林水産業	1.06	1.04	0.87	0.99	0.92
商工業	1.62	1.52	1.20	1.26	1.20
花火産業構想	0.11	0.01	0.16	0.14	0.16
観光	1.31	1.31	0.61	0.46	0.57
雇用・就労	2.10	1.99	1.43	1.36	1.42



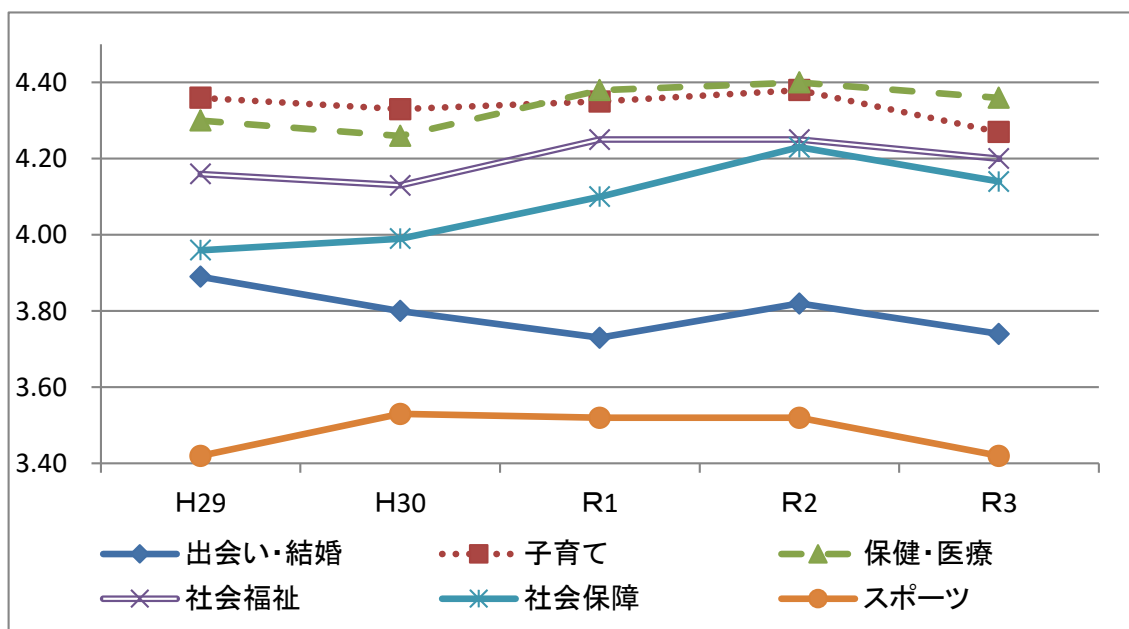
Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

満足度は、昨年度までは全ての項目で増加していたが、今年度は全て減少している。重要度も今年度は全て減少しており、全体的に横ばいとなっている。要望度は減少傾向となっていたが、令和元年度からは横ばいとなっている。また、満足度については「出会い・結婚」、重要度・要望度については「スポーツ」が他の項目に比べて低い値を推移している。

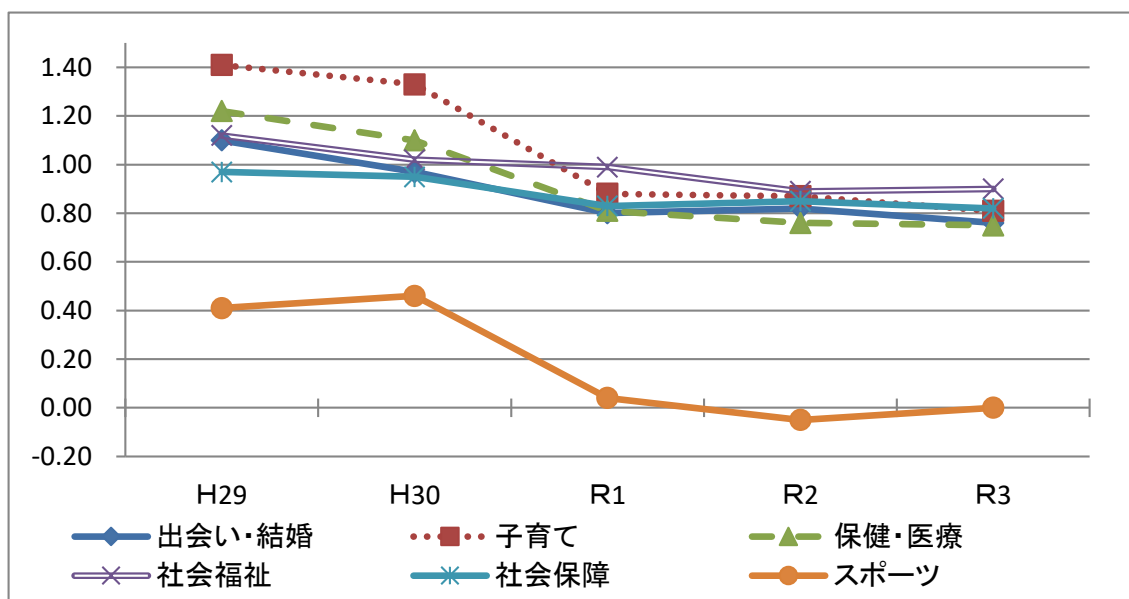
満足度	H29	H30	R1	R2	R3
出会い・結婚	2.79	2.83	2.93	3.00	2.98
子育て	2.96	3.00	3.47	3.51	3.46
保健・医療	3.08	3.16	3.57	3.64	3.61
社会福祉	3.04	3.11	3.26	3.36	3.30
社会保障	2.99	3.03	3.27	3.38	3.32
スポーツ	3.01	3.07	3.48	3.57	3.42



重要度	H29	H30	R1	R2	R3
出会い・結婚	3.89	3.80	3.73	3.82	3.74
子育て	4.36	4.33	4.35	4.38	4.27
保健・医療	4.30	4.26	4.38	4.40	4.36
社会福祉	4.16	4.13	4.25	4.25	4.20
社会保障	3.96	3.99	4.10	4.23	4.14
スポーツ	3.42	3.53	3.52	3.52	3.42



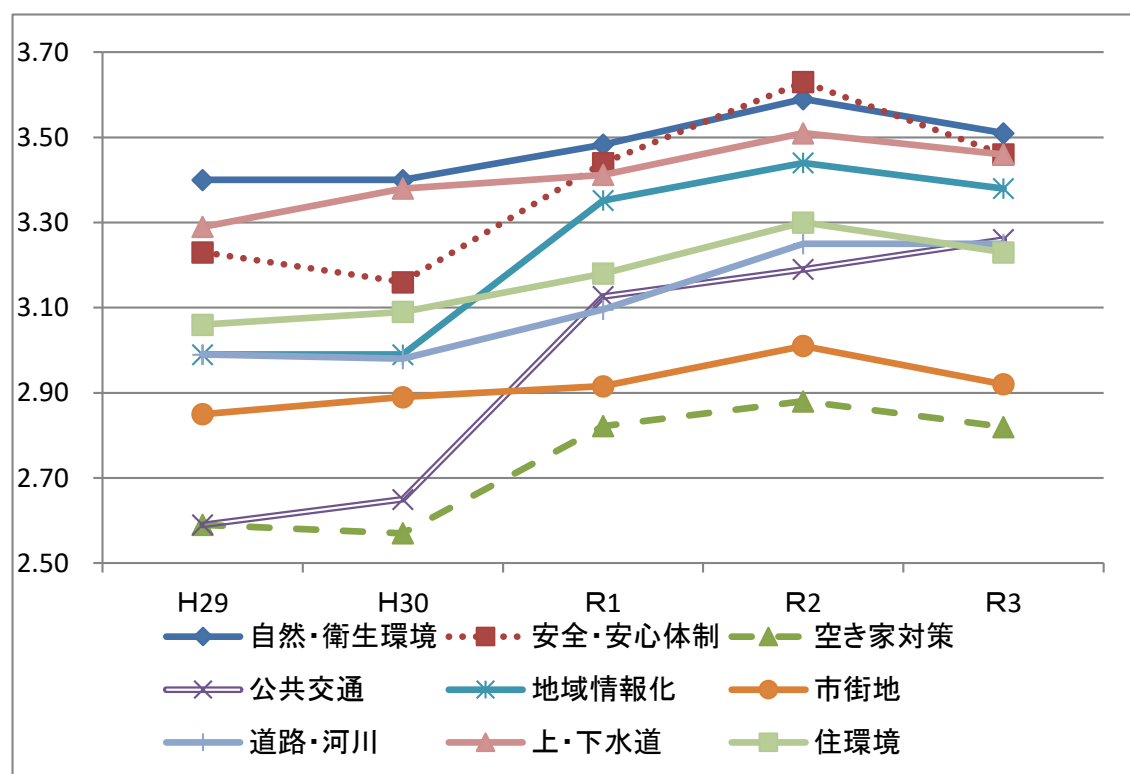
要望度	H29	H30	R1	R2	R3
出会い・結婚	1.10	0.97	0.80	0.82	0.76
子育て	1.41	1.33	0.88	0.87	0.81
保健・医療	1.22	1.10	0.81	0.76	0.75
社会福祉	1.12	1.02	0.99	0.89	0.90
社会保障	0.97	0.95	0.83	0.85	0.82
スポーツ	0.41	0.46	0.04	-0.05	0.00



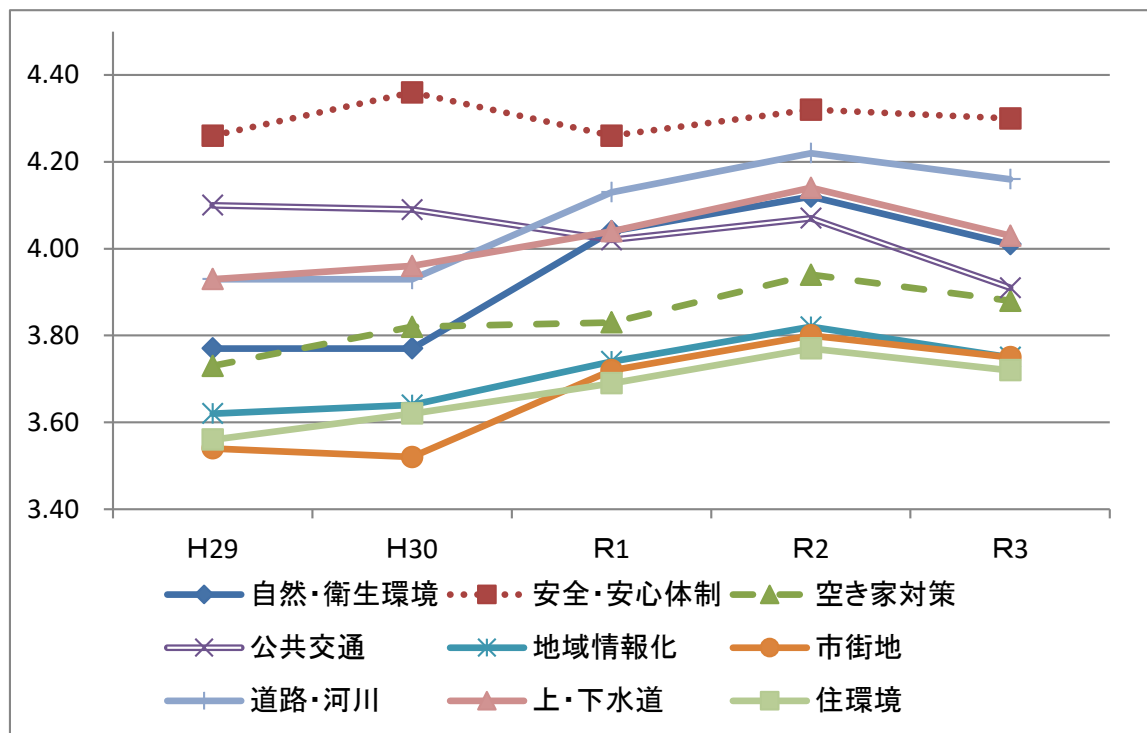
Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

満足度は、昨年度までは全ての項目で増加傾向となっていたが、今年度は「公共交通」「道路・河川」以外は全て減少し、「公共交通」のみ増加している。重要度も増加傾向の項目が多くあったが、今年度は全ての項目で減少している。要望度は、令和元年度からは全体的に横ばいとなっているが、「公共交通」については、満足度が唯一増加していることもあり、減少で推移している。

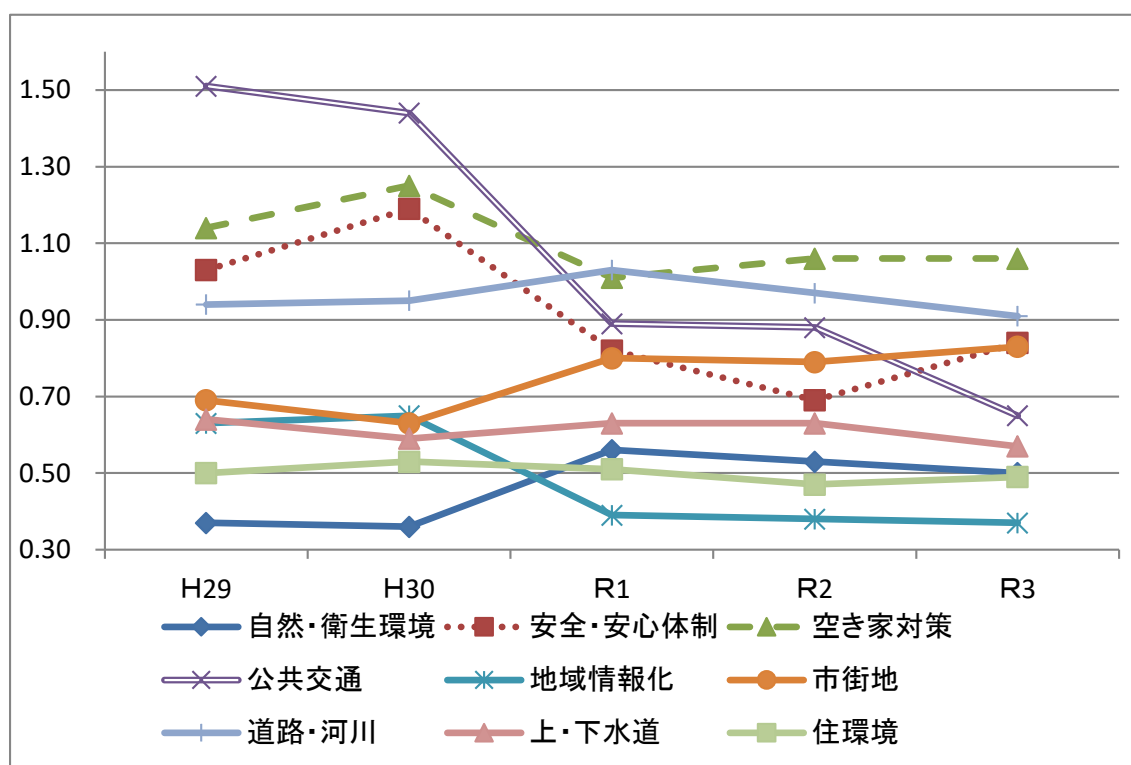
満足度	H29	H30	R1	R2	R3
自然・衛生環境	3.40	3.40	3.48	3.59	3.51
安全・安心体制	3.23	3.16	3.44	3.63	3.46
空き家対策	2.59	2.57	2.82	2.88	2.82
公共交通	2.59	2.65	3.13	3.19	3.26
地域情報化	2.99	2.99	3.35	3.44	3.38
市街地	2.85	2.89	2.92	3.01	2.92
道路・河川	2.99	2.98	3.10	3.25	3.25
上・下水道	3.29	3.38	3.41	3.51	3.46
住環境	3.06	3.09	3.18	3.30	3.23



重要度	H29	H30	R1	R2	R3
自然・衛生環境	3.77	3.77	4.04	4.12	4.01
安全・安心体制	4.26	4.36	4.26	4.32	4.30
空き家対策	3.73	3.82	3.83	3.94	3.88
公共交通	4.10	4.09	4.02	4.07	3.91
地域情報化	3.62	3.64	3.74	3.82	3.75
市街地	3.54	3.52	3.72	3.80	3.75
道路・河川	3.93	3.93	4.13	4.22	4.16
上・下水道	3.93	3.96	4.04	4.14	4.03
住環境	3.56	3.62	3.69	3.77	3.72



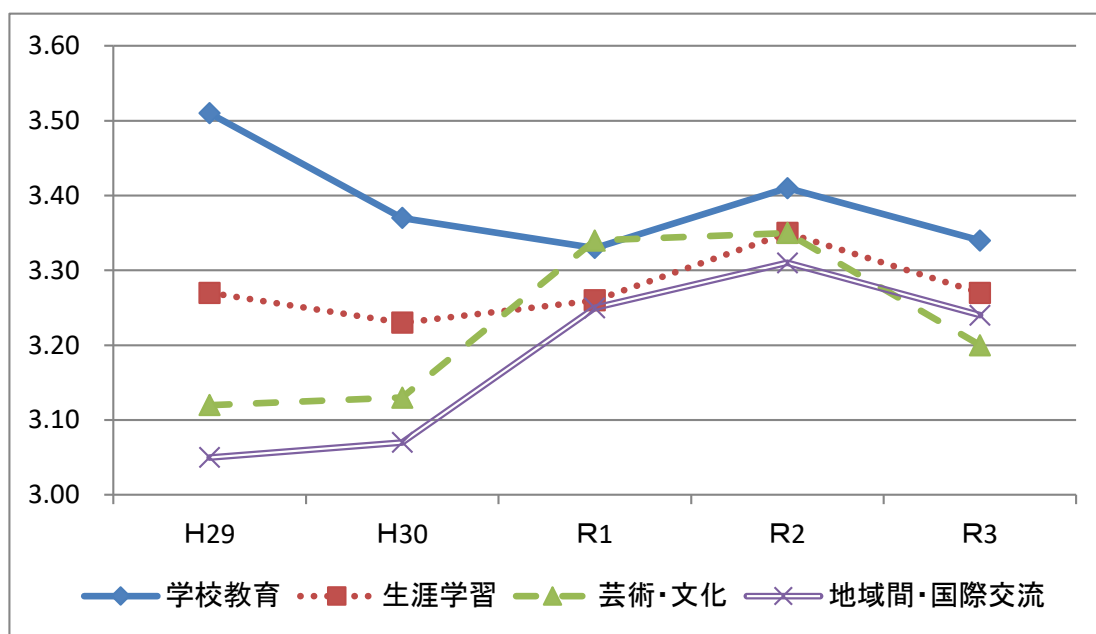
要望度	H29	H30	R1	R2	R3
自然・衛生環境	0.37	0.36	0.56	0.53	0.50
安全・安心体制	1.03	1.19	0.82	0.69	0.84
空き家対策	1.14	1.25	1.01	1.06	1.06
公共交通	1.51	1.44	0.89	0.88	0.65
地域情報化	0.63	0.65	0.39	0.38	0.37
市街地	0.69	0.63	0.80	0.79	0.83
道路・河川	0.94	0.95	1.03	0.97	0.91
上・下水道	0.64	0.59	0.63	0.63	0.57
住環境	0.50	0.53	0.51	0.47	0.49



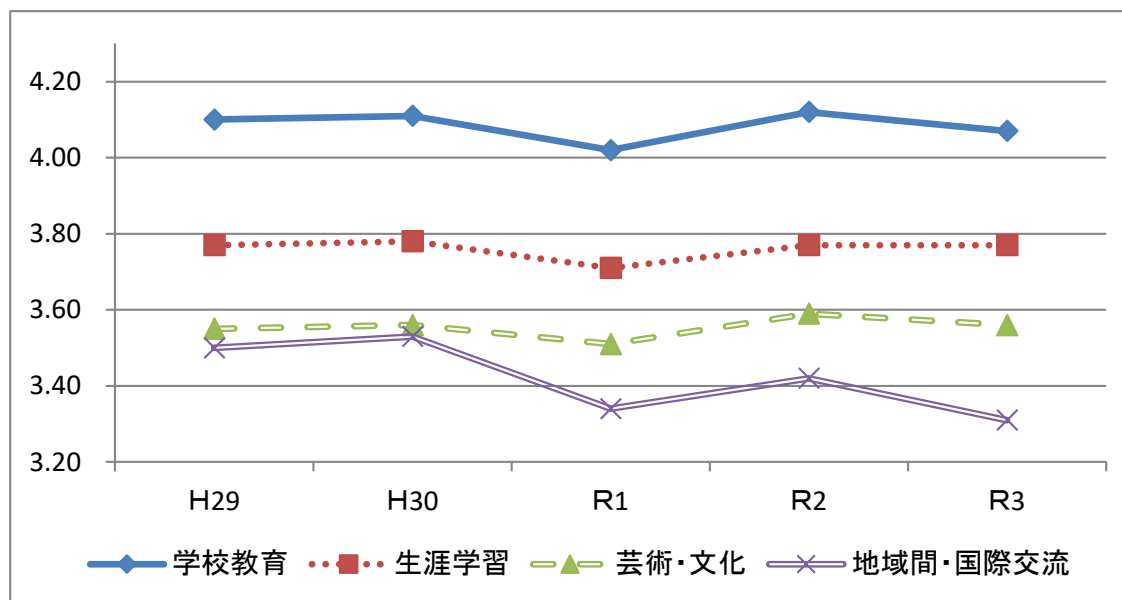
Ⅳ 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

満足度は、昨年度は全ての項目で増加したが、今年度は減少している。令和元年度から見ると、「芸術・文化」は減少しているが、その他の項目は同程度の値となっている。重要度は、「地域間・国際交流」は減少傾向となっているが、その他の項目は横ばいとなっている。要望度は、令和元年度以降、「芸術・文化」は増加傾向となっているが、その他の項目は横ばいとなっている。

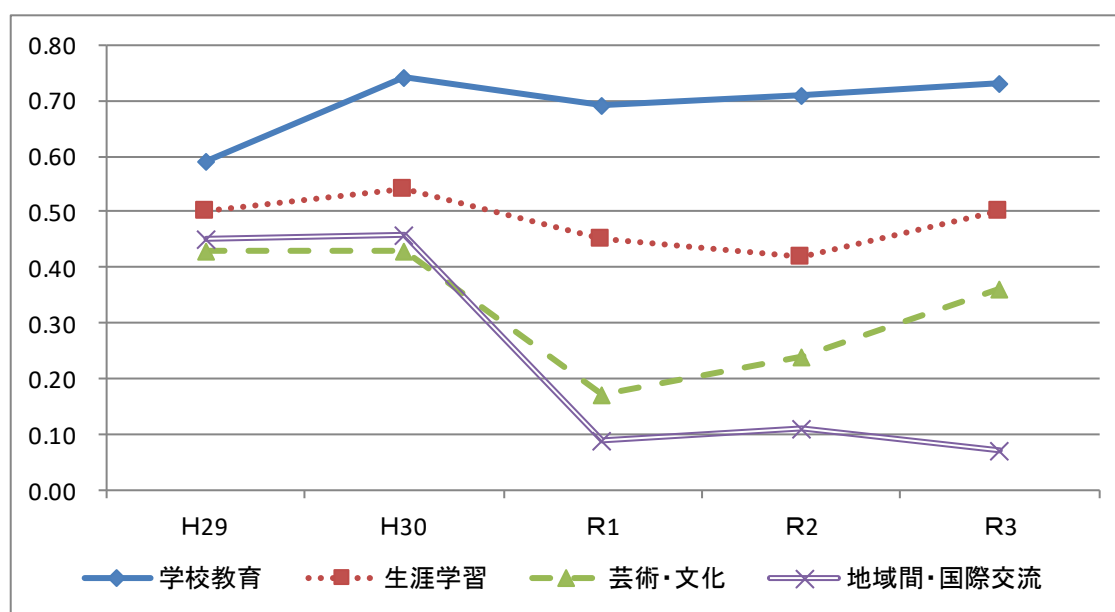
満足度	H29	H30	R1	R2	R3
学校教育	3.51	3.37	3.33	3.41	3.34
生涯学習	3.27	3.23	3.26	3.35	3.27
芸術・文化	3.12	3.13	3.34	3.35	3.20
地域間・国際交流	3.05	3.07	3.25	3.31	3.24



重要度	H29	H30	R1	R2	R3
学校教育	4.10	4.11	4.02	4.12	4.07
生涯学習	3.77	3.78	3.71	3.77	3.77
芸術・文化	3.55	3.56	3.51	3.59	3.56
地域間・国際交流	3.50	3.53	3.34	3.42	3.31



要望度	H29	H30	R1	R2	R3
学校教育	0.59	0.74	0.69	0.71	0.73
生涯学習	0.50	0.54	0.45	0.42	0.50
芸術・文化	0.43	0.43	0.17	0.24	0.36
地域間・国際交流	0.45	0.46	0.09	0.11	0.07

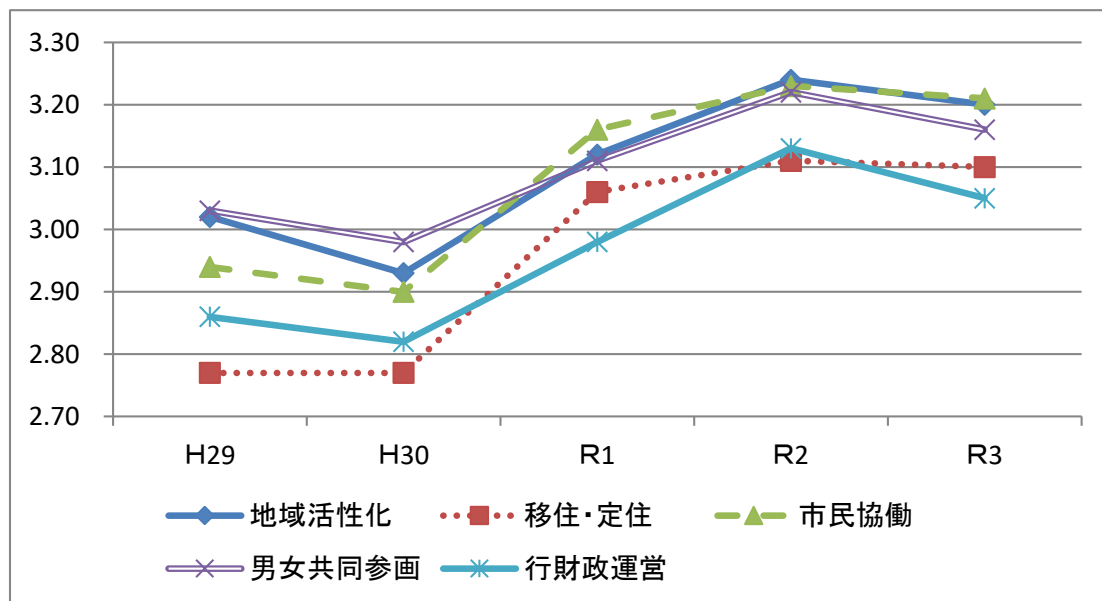


V 時代に合った地域を創ります！

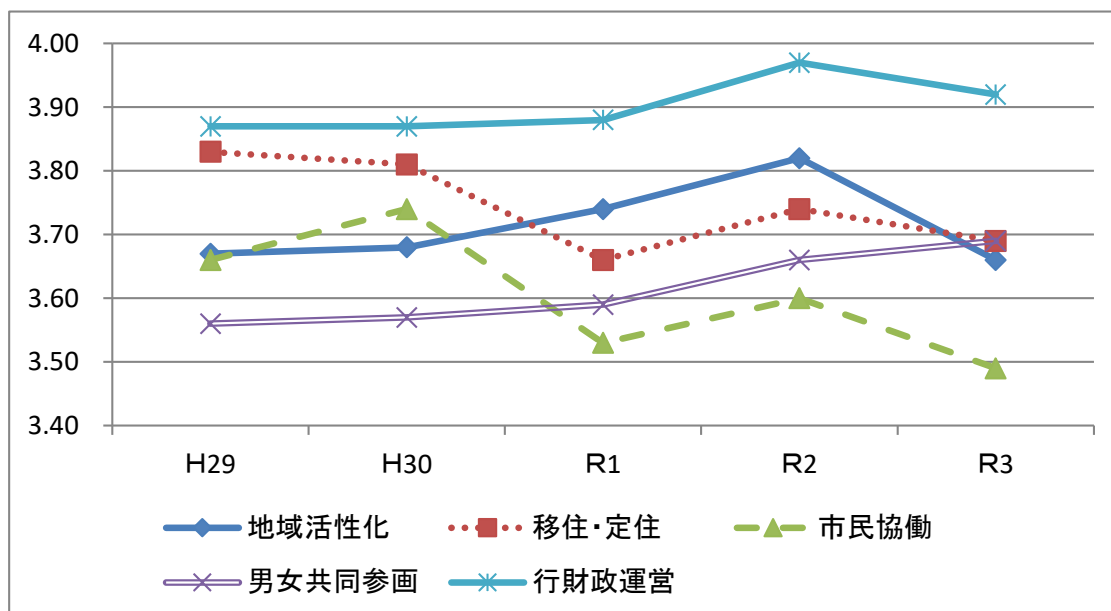
～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

満足度は、平成30年度以降、全ての項目で増加していたが、今年度は減少している。重要度は、「地域活性化」「行財政運営」は増加傾向であったが、今年度は減少している。「男女共同参画」は増加傾向、「市民協働」は減少傾向で推移している。要望度は、「男女共同参画」は今年度、他の項目より比較的大きく増加しているが、経年的に見ると横ばいとなっている。その他の項目については、令和元年度以降、横ばいまたは減少傾向となっている。

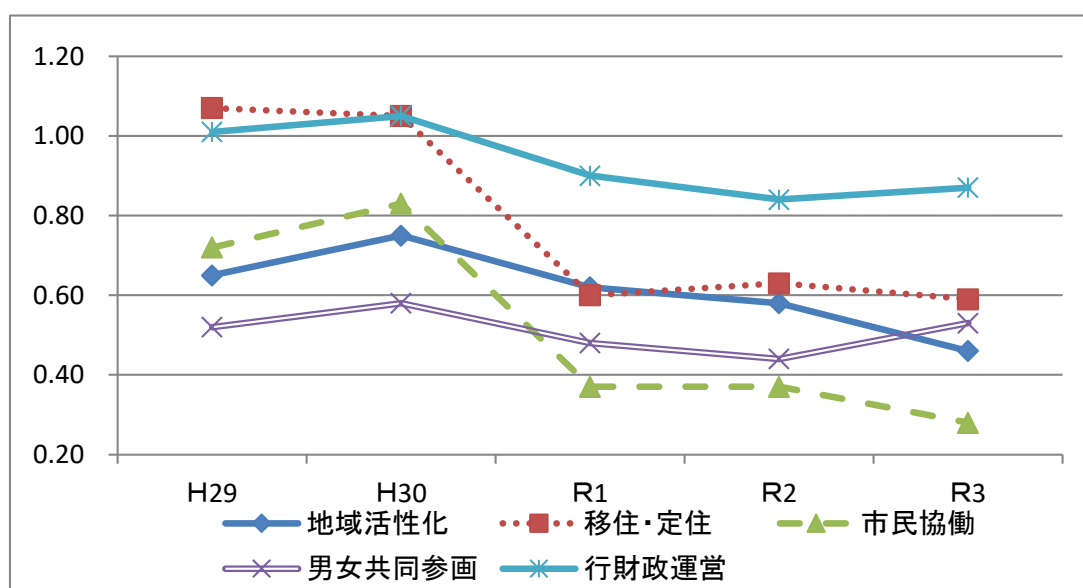
満足度	H29	H30	R1	R2	R3
地域活性化	3.02	2.93	3.12	3.24	3.20
移住・定住	2.77	2.77	3.06	3.11	3.10
市民協働	2.94	2.90	3.16	3.23	3.21
男女共同参画	3.03	2.98	3.11	3.22	3.16
行財政運営	2.86	2.82	2.98	3.13	3.05



重要度	H29	H30	R1	R2	R3
地域活性化	3.67	3.68	3.74	3.82	3.66
移住・定住	3.83	3.81	3.66	3.74	3.69
市民協働	3.66	3.74	3.53	3.60	3.49
男女共同参画	3.56	3.57	3.59	3.66	3.69
行財政運営	3.87	3.87	3.88	3.97	3.92



要望度	H29	H30	R1	R2	R3
地域活性化	0.65	0.75	0.62	0.58	0.46
移住・定住	1.07	1.05	0.60	0.63	0.59
市民協働	0.72	0.83	0.37	0.37	0.28
男女共同参画	0.52	0.58	0.48	0.44	0.53
行財政運営	1.01	1.05	0.90	0.84	0.87



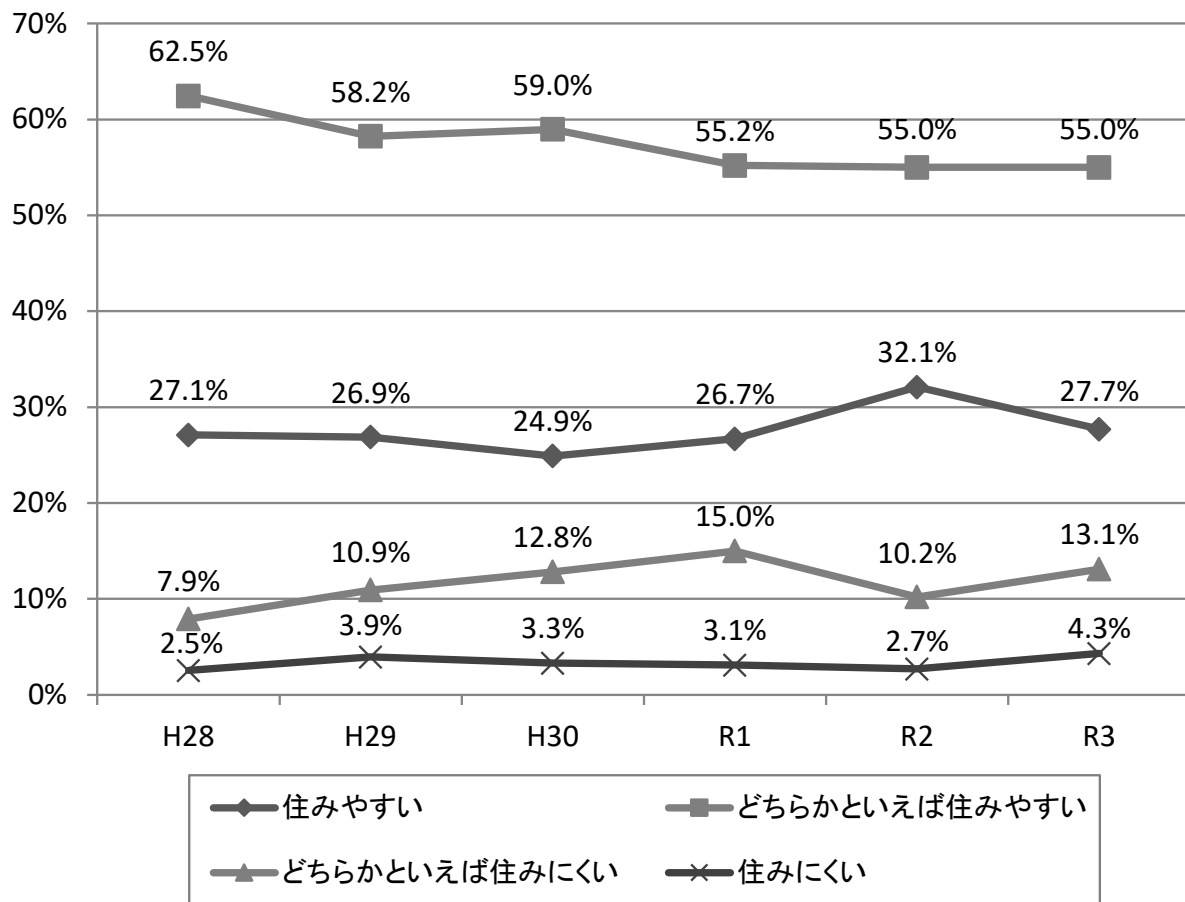
大仙市の住みやすさについて

「大仙市は住みやすいか」について

「住みやすい」は昨年度から減少したが、過去6年間で見ても比較的高い数値となっている。「どちらかといえば住みやすい」は減少傾向であったが、令和元年度からは横ばいとなっている。「住みやすい」が減少したことに伴い、住みにくいに関する項目が増加したが、「住みにくい」よりも「どちらかといえば住みにくい」が大きく増加している。

大仙市は住みやすいか	H28	H29	H30	R1	R2	R3
住みやすい	27.1%	26.9%	24.9%	26.7%	32.1%	27.7%
どちらかといえば住みやすい	62.5%	58.2%	59.0%	55.2%	55.0%	55.0%
どちらかといえば住みにくい	7.9%	10.9%	12.8%	15.0%	10.2%	13.1%
住みにくい	2.5%	3.9%	3.3%	3.1%	2.7%	4.3%

※経年比較のため、H28, H29 調査における割合は無回答を除いた数で求め直した



「大仙市に住み続けたいか」について

「今の場所に住み続けたい」は減少傾向で推移し、昨年度増加したが、今年度は減少している。「市内の別の場所へ移りたい」は、増加傾向であったが、令和元年度からはやや減少している。「市外に移りたい」は、増加傾向で推移しており、昨年度は大きく減少したものの、今年度は大きく増加している。「住み続けたいが、移らざるを得ない」は横ばいで推移している。

大仙市に住み続けたいか	H28	H29	H30	R1	R2	R3
今の場所に住み続けたい	78.7%	76.3%	73.3%	71.8%	75.2%	71.9%
市内の別の場所へ移りたい	10.1%	12.4%	11.9%	14.0%	13.3%	12.9%
市外に移りたい	6.9%	8.8%	10.7%	10.4%	8.1%	11.2%
住み続けたいが、移らざるを得ない	4.4%	2.5%	4.1%	3.8%	3.4%	3.9%

※経年比較のため、H28, H29 調査における割合は無回答を除いた数で求め直した

